

2. 植物調査



アキノゲシ (キク科)



エゾイボタ (モクセイ科)



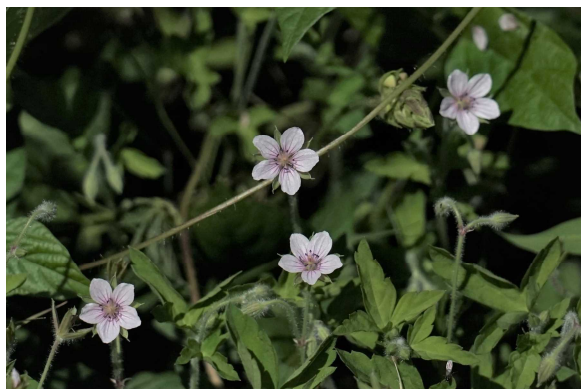
ミヤマガズミ (レンプクソウ科)



オタルスゲ (カヤツリグサ科)



オニシオガマ (ハマウツボ科)



ゲンノショウコ (フクロソウ科)



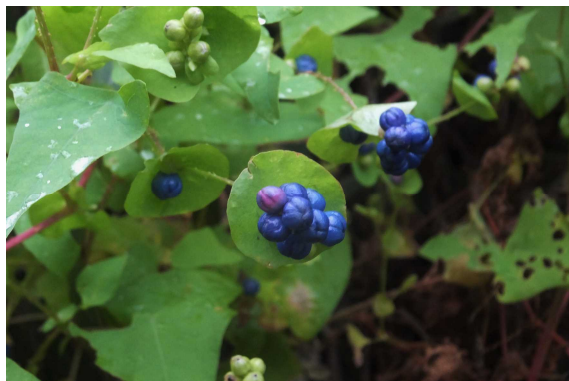
コシノバイモ (ユリ科)



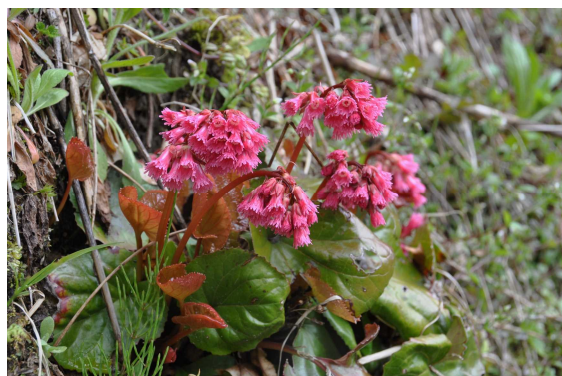
ヘイリンジスミレ (スミレ科)



オキナグサ (キンボウゲ科)



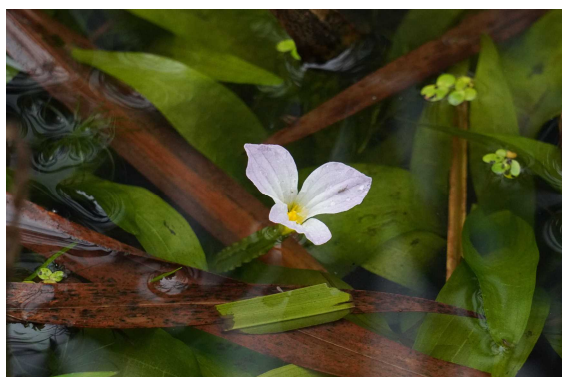
イシミカワ (タデ科)



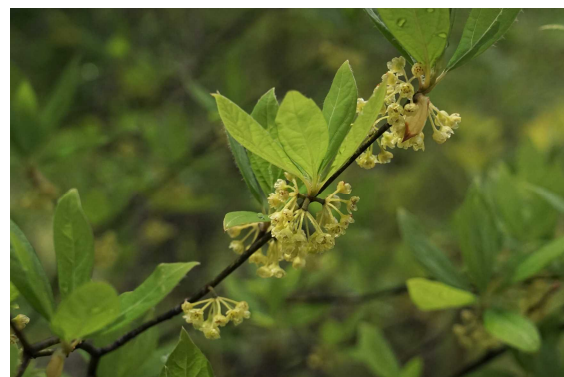
オオイワカガミ (イワウメ科)



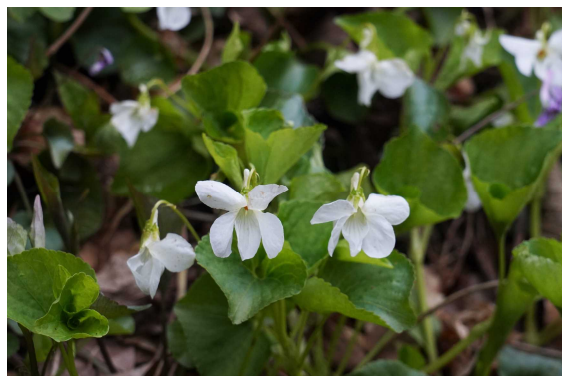
ツルニチニチソウ (キョウチクトウ科)



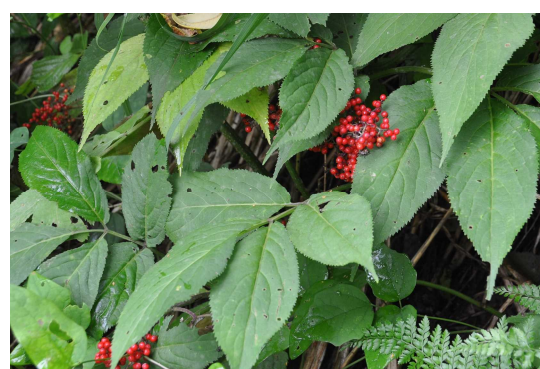
ミズオオバコ (トチカガミ科)



オオバクロモジ (クスノキ科)



オオタチツボスミレ (スミレ科)



オオニワトコ (レンプクソウ科)

(1) 調査目的・背景

魚沼市は尾瀬国立公園や越後三山只見国定公園の広大な山岳地帯を有し、日本百名山の平ヶ岳や越後駒ヶ岳、二百名山の守門岳・荒沢岳等の山々が連なっており、魚野川や破間川、佐梨川などの多くの河川が流れ、雄大な自然環境の中で、さまざまな生物が生息している。

魚沼市は、市政誕生5周年記念に「魚沼市自然環境都市宣言」を行い、平成28年4月1日から魚沼市自然環境保全条例を施行した。

2011年度から実施している魚沼市自然環境保全調査事業で、植物相は2018年度までに確認種は約900種以上となった。

植物相調査は、2020年度で10年の節目を迎えこれまで魚沼地域の本格的調査が行われてこなかった地域の里山の植生も徐々に明らかにされつつある。

2019年度は、調査地を1か所に絞り、鳥屋ヶ峰を調査した。2020年度は、オキナグサの群生地であり、魚沼市自然環境保全条例に基づく保全地区に指定した大芋川地区の植生実態を明らかにすることを目的に調査した。

また、里山地域の植物相調査の精度を上げることを目的に、今までの調査で同定が確定していない要再確認種を追跡調査班により、継続調査を実施した。

(2) 調査地域の位置

2019年度・2020年度の調査地は、下記の2か所を選定し、調査を実施した。また、これまでの各調査地で、種の同定に至らなかった未確認種や新たな種の確認を行い、里山地域の植物相調査の精度を上げることを目的に、追跡調査を実施した。

1) 鳥屋ヶ峰

調査地は、東経138度59分、北緯37度19分付近に位置し、市内の里山としては、独立峰的な地形で里山の代表的な存在である。

また、長岡市と隣接する位置にあり、海岸平野部の植物と内陸魚沼の植物の接点にあることから、植物分類や地理学的見地から植生データが欲しい場所である。

市民にとっては、四方からアクセスが可能な軽登山、ハイキングコースとして、親しみやすい環境にある。

2) 大芋川

大芋川地区は、市内唯一のオキナグサ（環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類、新潟県レッドリスト：準絶滅危惧Ⅰ類に指定）の群生地である。新潟県の生育地では最も大き

な群落であったが、中越地震でオキナグサの生育地である水田の畦が崩落し、群落が消滅の危機に瀕した。

その翌年から新潟県立植物園の技術支援を受け、地域住民地元小学校が、生育地の復元に取り組み群落の消滅は回避された。

その活動は地域の復興のシンボルとして取り上げられ、現在も地元集落・NPO 法人、地元小学校の地域共同の管理作業が継続されている。

オキナグサの生育地は新潟県内で3ヵ所あるが、大芋川が最も大きな群落であり、この生育地を魚沼市は自然環境保全条例に基づく保全地区に指定した。

本年度調査地は、東経138度55分から138度56分、北緯37度17分から37度18分の範囲及びその付近に位置する大芋川地区の農道沿い、水田の高畦、水路沿い、ため池付近、沢筋などを調査した。

3) 2019年度 追跡調査

2011年度から2018年度までに調査した箇所のうち、田河川から破間川沿い（新発田小出構造線）の堀之内地域の田河川、根小屋、広神地域の平地山、鳥屋ヶ峰、守門地域の鳥屋ヶ峰、小深沢、松川林道沿いを調査した。

4) 2020年度 追跡調査

2011年度から2018年度までに調査した箇所のうち、田河川から破間川沿い（新発田小出構造線）の堀之内地域の田河川、根小屋、広神地域の平地山、鳥屋ヶ峰、守門地域の鳥屋ヶ峰、小深沢、松川林道沿いを調査した。

さらに富永氏の応援により、七日市、薬師、日付川沿い、松川林道沿い、小深沢、根小屋、栃原道沿いを調査した。

(3) 調査方法

1) 2019年度調査体制

通常調査と追跡調査を実施したので、2班編成とし、担当地区を分担した。

① 班編成

鳥屋ヶ峰調査班は、リーダー和田齊、サブリーダー田中ミチ子、記録係井上美知子、写真係高橋新一、大桃好子、標本採取係星澄子、星全倫の7人体制とした。

追跡調査班は、調査委員会副委員長の富永弘氏をリーダーにお願いし、富永氏の指導のもと武藤光佳、小熊敏一、貝瀬正俊3名の健脚組を配置し、機動力をもって広範囲を調査する特別調査班を編成した。

② 調査方法

調査員はリーダー・サブリーダーが同定を行い、記録係が野帳記録、写真係が写真撮影、同定が困難な種は標本を採取した。調査市民ボランティアは、調査員の補助を行った。

標本作成は、調査員が当日に押し花を作成し、その後の作業は社会福祉法人雪国魚沼福祉会が運営している就労継続支援施設「わかあゆ社」に依頼し、完成品の整理とまとめは魚沼自然大学が行った。

同定が困難な種は、標本を調査委員会委員の富永委員に同定支援及び写真の確認を依頼した。

③ 調査期間及び調査日

ア 鳥屋ヶ峰

調査期間は4月から10月まで延7回調査した。

調査日は、下記のとおりである。

4月21日、5月6日、5月23日、6月16日、7月11日、9月6日、10月24日

イ 追跡調査

調査期間は4月から10月まで延6回調査した。

調査日は、下記のとおりである。

4月20日、5月6日、5月19日、6月16日、8月3日、10月6日

2) 2020年度調査体制

① 班編成

調査班は、6名で1班編成とし調査した。

武藤光佳調査員をリーダーとし、サブリーダーを和田齊、調査員は貝瀬正俊、小熊敏一、高橋新一、星全倫で標本採取・記録係・写真係を分担して実施した。

追跡調査班は、調査員6名のうちから3名を選抜し、武藤光佳、貝瀬正俊、小熊敏一で調査した。また、魚沼市自然環境調査委員会副委員長の富永弘氏に応援を依頼し、調査に協力していただいた。

② 調査方法

調査方法は、2019年度と同様とした。

③ 調査期間及び調査日

ア 大芋川

調査期間は4月から10月まで延10回調査した。

調査日は下記のとおりである。

4月13日、4月19日、4月27日、5月2日、5月9日、5月16日、6月14日、
7月18日、9月12日、10月17日

その他、当初計画にはなかったが、武藤調査リーダーが補完調査として、延9回調査した。

6月24日、6月25日、7月22日、7月26日、8月12日、9月2日、9月6日、
10月7日、11月12日

イ 追跡調査

調査期間は4月から10月まで延8回調査した。

調査日は下記のとおりである。

4月16日、5月23日、5月31日、6月3日、7月3日、10月16日、10月21日、
10月27日

このうち、10月の3回の調査は、富永弘氏に依頼した調査である。

(4) 調査結果

1) 調査結果

2019年度の調査地及び追跡調査における確認種数は、127科519種(亜種・品種を含む。以下同じ。)であった。

2020年度の調査地及び追跡調査における確認種数は、124科485種であった。

絶滅危惧種一覧表及び確認種目録は別表に記載した。

なお、目録の科名、和名、学名は米倉浩司・梶田忠(2003～)「BG Plants 和名－学名インデックス」(YList)により、科名の分類体系はLAPGⅢ(2009)を使用した。並び順はLAPGⅢの科名順で学名のアルファベット順とした。

2) 確認された絶滅危惧種

2019年度の調査結果のうち、新潟県レッドリスト(新潟県第2次レッドリスト 2014年)、環境省レッドリスト(環境省第4次レッドリスト 2012年)に記載されている種は16科16種、2020年度では7科7種であった。あわせて、2011年度～2020年度の調査で確認されたレッドリスト掲載種をまとめた(表2-1)。

表2-1 レッドリスト掲載種一覧

No.	科 名	和 名	学 名	環境省RL	新潟県RDB	備 考
1	ヒカゲノカズラ科	ヤチスギラン	<i>Lycopodium inundata</i> (L.) Holub		V U	
2	トクサ科	ミズドクサ	<i>Equisetum fluviatile</i> L.		V U	
3	ウラボシ科	ウラボシ	<i>Diplopterygium glaucum</i> (Houtt.) Nakai		N T	
4	サンショウモ科	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.	V U	V U	
5	ナヨシダ科	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i> (Lueruss.) Nakai		V U	
6	オンシダ科	ツルデンダ	<i>Polystichum craspedosorum</i> (Maxim.) Diels		N T	
7	ジュンライ科	ジュンライ	<i>Brasenia schreberi</i> J.F.Gmel.		V U	
8	スイレン科	ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi		V U	
9	ウマノスズクサ科	ミチノクサイシン	<i>Asarum fauriei</i> Franch.	V U	V U	
10	ウマノスズクサ科	ユキグニカンアオイ	<i>Asarum ikegamii</i> (F.Maek. ex Y.Maek.) T.Sugaw.		N T	
11	ウマノスズクサ科	コシノカンアオイ	<i>Asarum megacalyx</i> (F.Maek.) T.Sugaw.	N T	N T	
12	サトイモ科	ザゼンソウ	<i>Symplocarpus renifolius</i> Schott ex Tzvelev		V U	
13	オモダカ科	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino	N T	N T	
14	トチカガミ科	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gürke		V U	
15	トチカガミ科	ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.	V U	V U	
16	ヒルムシロ科	フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i> A.Benn.		N T	
17	ラン科	サワラン	<i>Eleorchis japonica</i> (A.Gray) F.Maek.		E N	
18	ラン科	ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i> Maxim.		V U	
19	ラン科	トキソウ	<i>Pogonia japonica</i> Rchb.f.	N T	E N	
20	アヤメ科	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray	N T	N T	
21	アヤメ科	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i> Fisch.	N T	V U	
22	ミクリ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	N T	N T	
23	ミクリ科	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert	N T	N T	
24	カヤツリグサ科	オタルスゲ	<i>Carex otaruensis</i> Franch.		N T	
25	カヤツリグサ科	サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i> K.Koch		N T	
26	カヤツリグサ科	シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i> (Makino) Sojak		N T	
27	イネ科	ユキクラヌカボ	<i>Agrostis hideoi</i> Ohwi	E N	N T	
28	イネ科	ヒロハノドジョウツナギ	<i>Glyceria leptolepis</i> Ohwi		N T	
29	メギ科	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> C.Morren var. <i>thunbergianum</i> (Miq.) Nakai		N T	
30	キンボウゲ科	エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>enkoso</i> H.Hara		V U	
31	キンボウゲ科	オキナグサ *	<i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Berchtold et J.Presl	V U	E N	
32	キンボウゲ科	バイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> Nakai var. <i>submersus</i> H.Hara		V U	
33	モンハギ科	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schltld.	V U	V U	
34	マメ科	フジカンゾウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i> (Oliv.) H.Obashi & R.R.Mill		V U	
35	バラ科	ヤマブキ *	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.		N T	
36	ニシキギ科	オオシラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook.f. et Thomson var. <i>japonica</i> (Nakai) Ohwi		V U	
37	オトギリソウ科	トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i> L. subsp. <i>ascyron</i> var. <i>ascyron</i>		V U	
38	アオイ科	カラスノゴマ	<i>Corchoropsis crenata</i> Siebold et Zucc.		L P	
39	タデ科	ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i> DC.	V U	V U	
40	アジサイ科	クサアジサイ	<i>Cardiandra alternifolia</i> Siebold et Zucc.		L P	
41	キョウチクトウ科	スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i> Kitag.	N T	V U	
42	ムラサキ科	エチゴルリソウ	<i>Omphalodes krameri</i> Franch. et Sav. var. <i>laevisperma</i> (Nakai) Ohwi		V U	
43	オオバコ科	サフトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) T.Yamaz.		N T	
44	オオバコ科	アブノメ	<i>Dopatrium junceum</i> (Roxb.) Buch.-Ham. ex Benth.		V U	
45	オオバコ科	ムシクサ (広義)	<i>Veronica peregrina</i> L.		N T	
46	タヌキモ科	ミミカキグサ *	<i>Utricularia bifida</i> L.		V U	
47	タヌキモ科	ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia caerulea</i> L.		V U	
48	ミツガシワ科	ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i> L.		V U	
49	キク科	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.		V U	
50	キク科	オオニガナ	<i>Nabalus tanakae</i> Franch. et Sav. ex Y.Tanaka et Ono		V U	
51	セリ科	ツボクサ *	<i>Centella asiatica</i> (L.) Urb.		L P	

注) * は、2019年度または2020年度調査で確認された種

カテゴリー 一覧

カテゴリー		環境省	新潟県
絶滅 (EX)		日本ですでに絶滅したと考えられる種	新潟県ですでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)		飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種	飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅危惧Ⅰ A類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)
	絶滅危惧Ⅰ B類 (EN)	Ⅰ A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)		絶滅の危険が増大している種	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)		現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧Ⅰ」に移行する可能性のある種	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息・生育条件の変化によっては「絶滅危惧Ⅰ」として上位ランクに移行する要素を有するもの
情報不足 (DD)		評価するだけの情報が不足している種	
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)		地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	保護に留意すべき地域個体群

備考欄に「栽培・逸出」とある種は、栽培状態にあるものまたは栽培されている植物が管理下から外れて野生化したもの。

(5) 2019年度・2020年度植物調査の評価と今後の展望

魚沼市自然環境保全調査委員会副委員長

富永 弘

魚沼市里山の植物調査が始まって10年以上となり、一区切りのまとめをすると同時に今までの結果を元に次の展開を考える時期にある。これまでの全期間の成果を背景として今年2年間の評価を行い、今後の進め方に役立つようにとの観点から論評を試みたい。調査は、市民参加型のユニークな態様で誇りを持って継続されてきたが、ある種の踊り場にいるような面も見え隠れしていると感じている。踊り場と言えば負のイメージがあるかもしれないが、それは隘路ではないし、先には天上への階段が続いているはずである。

本稿は、2011年からの10年間の調査総括と重複する記述があります。依頼された内容が類似であり、求められた時期が前後したこと等によるものであり、お許し願います。

<2019年と2020年の調査結果>

この2年間は、継続の鳥屋ヶ峰及び大芋川地区を調査するとともに、保留・再確認が必要となっていた種の追跡調査を行った。鳥屋ヶ峰においては、ヤチスギランやサンショウモなどの貴重なシダ植物がまだかなりの個体数を維持していることが判明し、暖地性のオオバノイノモトソウも確認することができた。稀な種類ではないと思うが、魚沼市では点々とし



図 2-1 オオバノイノモトソウ



図 2-3 ウシタキソウ

しか記録のないゲジゲジシダの生育もリストに挙げる事ができた。キンコウカやズダヤクシュの生育は、新潟県内でも低標高の産地ということができる。(以前から、上条地区では、キンコウカとイワショウブが低標高であるにもかかわらず多量に生えていることが知られていた。その分布要因には、強い関心を抱かざるを得ない。)ウシタキソウはずっとリストに掲載されているが、魚沼市では鳥屋ヶ峰周



図 2-2 ズダヤクシュ

辺以外では未確認である。魚沼地域全体でも産地は少ない。ナツトウダイはいわ

ゆる普通種と呼び得ようが、魚沼市内では産地に偏りがあるようで、分布に注意しながら記録を増やすことが望まれる植物である。後にも触れるが、ウラジロイタヤは調査地域周辺で分布が途切れると思われる。

朝日新聞社の「植物の世界」に、「オキナグサは、かつて日本の春を象徴する代表的な花であった」というようなことが書かれていた。令和2年度には、「満を持して」とも言うるオキナグサ生育地の調査に入った。確認種数は、植栽や逸出などを含めて961種となっている。調査対象地域の地形や生態的環境を考えれば、もう少し多数種の生育が予想されていたので、次回の精査に期待したい。

2020年度の確認種ウラジロは、暖地性の種であり市内里山の記録がまだ数箇所にとどまっているので、貴重な情報である。市内に記録が少ないホドイモも生育している。リストでは、ほかにキタゴヨウやセンボンヤリが目をつけた。キタゴヨウは比較的低温の産地ということになり、センボンヤリは何故か魚沼市の稀産植物のひとつとなっている。オモダカが生き残っていることも確認



図 2-4 ウラジロ

し、市内記録が多くないサルトリイバラも表に加えることができた。キバナイカリソウについては慎重な同定が必要と考えるが、魚沼市内に分布の境界があるように思われる。

追跡・再確認調査は、主として「種名の記録はあるものの検証できる標本がない植物」を対象に行った。標本が存在せず（あっても詳しい採集地の記載がなく）、簡単には進まなかった。再現性が極めて低かったのである。追跡調査の現場では、今までに市内里山の記録がなかったタチアザミ、アメリカオニアザミ、ヘラバヒメジョオン、マルバヤハズソウ、ホナガイヌビユなどを確認することができた。また、これまでの各調査地域における未掲載種の相当数を補充することができた。このことは、いまだに多くの掲載漏れの種があるだろうことを示唆している。今後とも、補完調査の必要性があるものとする。

＜これまでの成果を生かして・・・今後の調査のヒントとして・・・＞

1. 攻める調査

上に、「2020年度の大芋川の確認種は、やや少ないか？」という印象を書いた。その理由を述べる。リストの最初のページでまず次のようなことを思った。コバノイシカグマは新潟県のやや稀産種と認識されているが、今まで魚沼市のほぼ全ての調査地区で見つかるが……。サトメシダ、ホソバナライシダ、ミヤマベニシダ、ミヤマイタチシダ等は、この調査区でも挙げられていたが……。

ページを繰ると、ありふれた印象のアキメヒシバ、クサヨシ、ササガヤなどの名前も見られなかった。本当に生えていないのであれば、興味深い事実であり、植物の分布要因解析のヒントが内包されている可能性が大きい。

ある程度の情報を蓄積した魚沼市の調査は、そろそろ「攻めの姿勢に転じ」ても良いのではなかろうか。出会った植物を記録するのみではなく、「〇〇が生えていてもいいはずだ」とか「このような環境ならば、××があってもおかしくない」と、今までの成果と比較点検する心持ちで調査に当たることである。このような姿勢だと、確実にリストは充実してくる。

魚釣りをする知人の話だが「名人は、釣れるまでねばるから名人と言われる」のだそうである。筆者が今まで接した「草木の名人」も、全てねばりの人、しつこい方々だった。夕闇せまろうが、空腹だろうが、雨天だろうが、しつこくしつこく、しつこく、藪に顔を突っ込み、地面に膝ついてルーペを覗いていた。

2. 軍を出して標本を死守

植物に多少とも関心を持つ者で、リンネの名を知る人は少なくないだろう。長田武正さんの植物図鑑には、次のようなエピソードが書かれている。「大英帝国の羽振りがよかったとき、スウェーデンのリンネやチュンベリーの標本を英国に持ち出そうとしたことがあった。スウェーデン国王は、軍艦を出して国の宝である標本を守った」ということである。長田さんは、証拠としての標本の重要性を伝える話として紹介している。

新発見の植物に名前をつけて発表する際には、必ずその植物の標本を保管することとなっている。標本は証拠として重要であることはもとより、後々に調べ直したり、類似の植物と比較する際に不可欠となる。

最近、ヒタチナカリユウ（恐竜）の化石としていた標本がスッポンの仲間のものと分かったというニュースがあった。観光部門をはじめ落胆した関係者が多いと想像するが、これも、実物（化石標本）があればこそその修正であった。この報道に少し落胆しながらも、「やはり、実物を保管することは重要だ」と思い直した。

3 原虫野のザゼンソウは本物か？

仕事に忙殺されていたある夕方、石沢先生の電話を受けたことがあった。「30分以内に、小出インターまで、原虫野のザゼンソウの葉っぱを2-3枚届けてほしい」という話。机上の仕事を先送りして依頼に応じたが、「ナベクラザゼンソウという新種が発表され、自分の標本を含め、今までの記録を再確認している」という文脈での依頼だった。（※ナベクラザゼンソウは信越国境付近に自生し、葉の形が横に広い。）



図 2-5 オトメエンゴサ

このようなことは、特に珍しいことではない。魚沼市の調査でも、当初のリストにはオトメエンゴサクの名前はなく、ヤマエンゴサクとかエゾエンゴサクと書かれている。オトメエンゴサクについては長く疑問を持ち続けていたが、最終的には、命名者に標本を送って納得した（ことにしている）。最近では、ミズワラビをヒメミズワラビに改めている。

「魚沼市内でヤマネコノメソウやマネキグサを見つけた」と先達に伝えたとき、当初は信



図 2-6 ヒメミズワラビ

用してもらえなかった。標本を持参して「本当だ！」となった経験がある。

リストに掲載する全種の標本を保管することが基本だが、せめて、同定が難しい（微妙な）種や分布情報が貴重な種については、標本を保管すべきである。そうすれば、疑問や反論に応ずることもできるし、将来の新たな発見にも対処が可能となる。

4 標本に泣かされる

多少の関心は持っていても専門家には遠いので、「標本を見てほしい」と言われると苦しい。自分の学びにもなるので、他の方の標本を見せていただくのは楽しみではある。しかし、「名前を教えて」となると困ってしまう。名前を付ける（同定する）には、それだけの根拠が必要である。先様が付けた名称を、「これは違う」と修正する場合はいっそう苦しい。標本では、花の色が判りにくかったり、形や大きさ、光沢や質感も生時とは異なっている。何より辛いのは、花のない草本、胞子のないシダ植物、未熟なスゲ類などの標本である。名前が付されていないならばまだしも、名前が書かれていると、肯定するにも否定するにも大きなエネルギーが必要で、根拠立てに非常に悩んでしまう。「標本さえあれば、名前が判る」という認識は間違いである。専門の研究者でも、部位や採集時期により名前が不明のこともある。写真撮影にしても同様である。

植物の同定には「いつの時期のどの部位が必要か」を知っておくことが大切である。そうも喧しく言われては・・・と思う向きもあるが、ほんの少し注意することで精度が著しく向上するのだから、後世のためにも納税者のためにも心がけてほしいと思う。

5 分布の観点からの重要な知見

調査では、暖かい地方を中心に生育するシダ植物の何種類かを確認してきた。ウラジロとオオバノイノモトソウは、今期調査でも確認されている。両者とも、個体数も生育密度も少ないが、魚沼市の数箇所に生育していることが判明した。南方に本拠を置くシダ植物では、以前にフモトシダも記録されている。ヒメミズワラビは、過去のデータがないので比較はできないが、現在は市内全域にわたり水田周辺に生育しているものと思われる。これらのシダ植物は、調査前には「魚沼市には生育しない」と考えられていたものである。

次に掲げるいくつかの植物は、市内分布の精査により興味深い分布図が描けるものと大いに期待している。

◎ヒトリシズカ・・・今期も未発見であるが、過去の調査で記録されている。魚沼市は分布限界かそれに近く、貴重な記録となっている。

◎コンロンソウ・・・今までの調査で1回だけ記録されている。「魚沼市にはない」とされていた種類であるが、ある一角には多量に生育している。しかし、他では極めて稀である。

魚沼市周辺でも湯沢町以外では稀であり、情報累積が強く期待される。

◎タツナミソウ類・・・デワノタツナミソウに加えて、ごくわずかの個体数ながらヤマタツナミソウが記録されてきた。他種のタツナミソウも含めて、これらの生育情報の蓄積が望まれる。

※ クスギやオクモミジハグマも、調査野帳に名前があったようにも記憶するが、両者とも魚沼市周辺が分布限界と思われる。生育していても不思議はないが、リスト計上の場合には標本等による確認が必要である。ほかにも、ナツノハナワラビ、ハナヤスリ類、ショウキラン、イチゴツナギやノガリヤスの仲間の確認を心待ちにしている。

6 魚沼市付近で分布が途切れる植物など

たとえば、シナノキは特に珍しい植物ではないが、魚沼市の里山では記録されていない。魚沼地域では、ある程度の標高がないと見る機会が乏しいように思う。ロープに強度を持たせるためにシナノキの繊維を織り込む例が知られるが、筆者の地元集落では、(シナノキが無いので代わりに) ウリハダカエデの繊維を用いてきた。

鮮やかな黄金色の花を咲かせるキオンは、魚沼市の里山調査では記録されていない。南魚沼市の旧大和町地域では、魚沼市境に近い場所に生育している。しかるに、目と鼻の先の魚沼市では見られない。本当に魚沼市の里山にはないのだろうか？ キオンは新潟県内で特異な分布パターンを示し、県北部では高所でしか見られないが、南部では低地から高山まで生育している。この不思議な分布型を解析するためにも、魚沼市の生育状況の確認が望まれる。

※キオンは、富永「魚沼市小出西山の植物」に記録されている。

以上のほかにも、今までの確認記録を見返すと、次のような植物の分布が強く興味を引く。

◎カマツカ・・・県内に広く分布していて、魚沼市内にも見られるが少ない。筆者の村でもカマツカ(鎌柄)は見られず、ウワミズザクラをナタヅカ(鉈柄)と呼んで利用する。

◎カツラ・・・魚沼市にも生育し「コウノキ(香の木)」と呼ばれている。魚沼市には非常な大木もあるが、個体数も生育地も多くないようである。南魚沼市では里山に自生もするが、しばしば桂の大木がある寺社に出会う。魚沼市の寺社で見る機会もあるが、南魚沼市に比べればずっと少ない印象がある。山野の自生状況との関係もあるのだろうか？

◎ホナガクマヤナギ・・・今期調査も含めて、今までにも頻回に記録されてきた。「新発田ー小出構造線付近で分布に限られる(フォッサマグナ地域内には生育していない)」との説があるので、特に、魚野川と破間川の東西における分布状況を比較できる資料が整えばおもしろい。



◎チシマネコノメソウ・・・県内に広く分布する種類

であり、詳しく見れば魚沼市や南魚沼市でも概ね普遍

図 2-7 ホナガクマヤナギ

的に生育するようである。しかし、個体数は少なく植物体も小さいことが多い。魚沼市内の本種は、いかにも元気がない印象であり、稀産植物の状況にある。魚沼以外では、近縁のホクリクネコノメと共存することもあるので、分布要因の解析のためにも、全市的な生育状況の把握が望まれる。

◎キバナイカリソウとウラジロイタヤは、今までの調査でも「魚沼市内では生育地が限られる」という結果となっているが、調査精度を高めて魚沼市内の分布図を描けるまでにしたいものである。



図 2-8 ウラジロイタヤ

7 稀産種は見つけない

牧野富太郎は、「植物の勉強は、まず身近なところから」と繰り返したという。確認種リストに稀産種があれば賞賛されるだろうが、誤同定が多かったり普通種が欠けていては結果が疑われてもやむを得ない。

今期調査の野帳には、カザグルマ、エノコログサ、メアオスゲ、オオバセンキュウなどの名前もあったようである。カザグルマの自生が確実であれば、おそらくは新潟県で初めての記録となる。メアオスゲも同様だろう。エノコログサの名前は今までにも何回も野帳に書かれたが、いずれもアキノエノコログサの誤認であった。エノコログサと同定されれば、市内新発見となる。オオバセンキュウが確認できれば、県内の新たな分布地点として貴重な情報となる。

タチツボスミレは、ものの本に「全国に分布し、生育数も多い日本を代表するスミレ」などと書かれているが、魚沼市周辺で見かけることは少ないように思う。魚沼では、乾燥した岩場などで見かけることが多いと感じている。市内や周辺における確実な生育情報が強く期待されてきた種のひとつである。今後も情報の蓄積を続けてほしい。



図 2-9 タチツボスミレ

いずれにしても、稀産種や新発見の種名を掲載する際には、確かな証拠に基づく慎重な精査が必要と考える。

8 精神体力も必要・・・宙ぶらりんに耐える

苦しくて落ち着かないことなのだが、不明の調査結果をそのままに保持する勇気・耐性も求められる。不明の標本にはあえて名前をつけず、保留扱いとして調査を継続する必要がある。この中途半端な状態に耐えるには、ある種の精神力が求められる。それは、「誠実さ」とか「学問的良心」と呼べるかもしれない。無理に、あるいは安易に名前を付けて「これで

お終い」としては、発展も無い。次年、次々年の調査を期して、あえて不明・保留とすべき場合もある。「図鑑と見比べても正解がない、名前が分からない、名前がない」ということもあるのだから。

理想を言えば、生育する全種類をリスト化することが今の調査の目標になる。「生育するものは全てリスト化した。表に名前のない植物は生えていない」と言い切れるレベルが最良だが、現実的にはありえない。しかし、できるだけ理想の形に近づけるような努力が期待される。

ゲーテの作中にある「人生は短く、芸術は長い」という言葉は、外国語の授業で教わった。これまでの調査結果を通覧してみて、この言葉を思い起こした。「魚沼市は広く、植物相の解明は遠い」と痛感する。予想もしなかった植物が、予想もしない場所で確認される一方で、どこにでも見られそうな種がリストに未掲載だったりする。芸術は長い。根気よく、着実に調査が継続されることを希望したい。

(6) 参考文献

- ・畔上能力 編 2005 年 「山溪ハンディ図鑑 2 山に咲く花」 山と溪谷社
- ・石沢進 監修 1998 年 「越後＝新津丘陵に生きる 里山の植物」 (財)新潟県都市緑化センター
- ・岩槻邦男 編 2006 年 「日本の野生植物 シダ」 平凡社
- ・魚沼市市民課環境対策室 編 2012 年 「魚沼市植物相調査 中間報告書」 魚沼市
- ・魚沼市環境課環境対策室 編 2013 年 「平成 24 年度魚沼市自然環境保全調査報告書」 魚沼市
- ・魚沼市環境課環境対策室 編 2013 年 「平成 25 年度魚沼市自然環境保全調査報告書」 魚沼市
- ・魚沼自然大学 2012 年 「魚沼市の植物調査 奥只見丸山」 魚沼自然大学
- ・角野康郎 2008 年 「日本水草図鑑」 文一総合出版
- ・佐竹義輔ほか 編 2004 年、2008 年 「日本の野生植物 木本 1、2」 平凡社
- ・佐竹義輔ほか 編 2006 年 「日本の野生植物 草本 1～3」 平凡社
- ・栃尾市立教育センター 企画・編集 1984 年 「栃尾の植物」 栃尾市教育委員会
- ・富永弘 2014 年 「魚沼市小出西山の植物」 富永弘
- ・新潟県環境生活部環境企画課 編 2001 年 「レッドデータブックにいがた」 新潟県環境生活部環境企画課
- ・新潟県環境生活部環境企画課 編 2014 年 「新潟県第 2 次レッドリスト 植物(維管束植物及びコケ植物)編」 新潟県環境生活部環境企画課
- ・林弥栄 監修 2007 年 「山溪ハンディ図鑑 1 野に咲く花」 山と溪谷社
- ・牧野富太郎 原著 大橋博好ほか 編 2008 年 「新牧野日本植物圖鑑」 北隆館
- ・新潟県植物目録編集委員会 2005 年 「新潟県植物目録(チェックリスト)」 植物同好じねんじょ会

表2-2 2011年度～2020年度調査における植物目録

1 植物目録

この植物目録は、魚沼市植物調査地における2011年度～2020年度の調査で確認された種を記した。
 この植物目録は、2011年度～2020年度の魚沼市植物調査で確認された種を記したものである。
 2019年度または2020年度の調査で確認された種については、調査地、年度別に「○」を表示し、2018年度以前の調査で確認された種は、「2018以前の調査」欄に「○」を表示した。
 この植物目録の和名および学名は、米倉浩司・梶田忠（2003）「BG Plants 和名－学名インデックス」（YList），
<http://ylist.info> (2021年3月15日)に準拠した。

2 絶滅危惧種等

絶滅危惧種等については、環境省、新潟県のレッドリストおよびレッドデータブックに記載されている種を記し、「レッドリスト
 レッドデータブック」欄に以下の危急度を記した。

カテゴリー	環境省	新潟県
絶滅 (EX)	日本ではすでに絶滅したと考えられる種	新潟県ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側に野生化した状態でのみ存続している種	飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅危惧ⅠA類(CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの 絶滅危惧ⅠB類(EN) I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	絶滅危惧Ⅰ類 (EN) 絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息・生育条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
情報不足(DD)	評価するだけの情報が不足している種	
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	保護に留意すべき地域個体群

3 外来種

外来種、特定外来生物については、該当する種に「○」を表示した。また、用語の定義については以下のとおりである。
 外来種：意図的・非意図的を問わず人為的に、過去あるいは現在の自然分布域外へ移動させることによりその生物が本来有する能力で移動できる範囲により定まる地域の外に生育又は生息する生物種(分類学的に異なる集団とされる亜種、変種を含む。)
 特定外来生物：生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして、外来生物法によって規定された外来生物。
 同法で規定する「外来生物」は、海外から日本に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物を指す。
 外来種は、国立研究開発法人 国立環境研究所が公表している「侵入生物データベース」(2021年3月15日)を基に魚沼市自然環境調査委員会の委員の助言により決定した。

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト、<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html> (2021年3月15日)に掲載されている種のうち、国外由来の外来種(*)は、「生態系被害防止外来種リスト」欄に以下の種別または対策優先度の要件を記した。

* 国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種は、この植物目録に掲載している種に該当がなかった。(種別)

- 緊：総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急対策外来種
- 重：総合的に対策が必要な外来種のうち、重点対策外来種
- 他：総合的に対策が必要な外来種のうち、その他の総合対策外来種
- 産：適切な管理が必要な産業上重要な外来種
- (対策優先度)
- ①：生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大である。
- ②：生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い。
- ③：絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い。
- ④：人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対して甚大な被害を及ぼす。
- ⑤：防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

4 栽培・逸出

栽培状態にあるものまたは栽培されている植物が管理下から外れて野生化したものに「○」を表示した。

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義)を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック 環境省 新潟県	外来種	生態系被害 防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
ヒカゲノカズラ科 Lycopodiaceae												
1	ヤチスギラン	<i>Lycopodium inundata</i> (L.) Holub	○				○		V U			
2	ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> L.	○		○		○					
3	トウゲシバ (広義)	<i>Huperzia serrata</i> (Thunb.) Trevis.			○		○					
イワヒバ科 Selaginellaceae												
4	クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i> Spring					○					
ハナヤスリ科 Ophioglossaceae												
5	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i> (Prantl) Underw.					○					
6	フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.	○		○		○					
トクサ科 Equisetaceae												
7	スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.	○		○		○					
8	ミズドクサ	<i>Equisetum fluviatile</i> L.					○	V U				

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
ゼンマイ科 Osmundaceae													
9	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.	○		○		○						
10	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmundastrum cinnamomeum</i> (L.) C.Presl var. <i>fokiense</i> (Copel.) Tagawa					○						
コケシノブ科 Hymenophyllaceae													
11	ヒメハイホラゴケ	<i>Vandenboschia nipponica</i> (Nakai) Ebihara					○						
ウラボシ科 Gleicheniaceae													
12	ウラボシ	<i>Diplopterygium glaucum</i> (Houtt.) Nakai			○		○		N T				
サンショウモ科 Salviniaceae													
13	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.	○				○	V U	V U				
キジノオシダ科 Plagiogyriaceae													
14	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumurana</i> Makino					○						
コバノイシカグマ科 Dennstaedtiaceae													
15	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (Sw.) Mett.					○						
16	コバノイシカグマ	<i>Dennstaedtia scabra</i> (Wall. ex Hook.) T.Moore					○						
17	イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i> (Thunb.) Mett. ex Kuhn	○				○						
18	フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i> (Panzer) C.Chr.					○						
19	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn subsp. <i>japonicum</i> (Nakai) Á. et D.Löve	○		○		○						
イノモトソウ科 Pteridaceae													
20	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i> L.	○		○		○						
21	ヒメミズワラビ	<i>Ceratopteris gaudichaudii</i> Brongn. var. <i>vulgaris</i> Masuyama et Watano	○				○						
22	イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels	○				○						
23	オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i> L.	○										
24	イワガネゼンマイ（広義）	<i>Coniogramme intermedia</i> Hieron.	○				○						
チャセンシダ科 Aspleniaceae													
25	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.	○		○		○						
26	コタニワタリ	<i>Asplenium scolopendrium</i> L.subsp.japonicum (Kom.) Rasbach,Reichst.et Viane	○				○						
ヒメシダ科 Thelypteridaceae													
27	ゲジゲジシダ	<i>Thelypteris decursivopinnata</i> (H.C.Hall) Ching	○				○						
28	ハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching					○						
29	ヤワラシダ	<i>Thelypteris laxa</i> (Franch. et Sav.) Ching			○		○						
30	ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i> (Salisb.) Schott	○		○		○						
31	ミゾシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> (Lag.) C.V.Morton subsp. <i>Mollissima</i> (Fisch. ex Kunze) C.V.Morton					○						
32	オオバショリマ	<i>Thelypteris quelpaertensis</i> (Christ) Ching					○						
33	ヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana</i> (Gaudich.) Alston var. <i>calvata</i> (Baker) K.Iwats.	○				○						
ナヨシダ科 Cystopteridaceae													
34	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i> (Luer) Nakai					○		V U				
メシダ科 Athyriaceae													
35	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i> (Mett.) Y.C.Liu, W.L.Chiou et M.Kato	○				○						
36	カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i> Tagawa					○						
37	サトメシダ	<i>Athyrium deltoideifrons</i> Makino	○		○		○						
38	ホソバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i> Rosenst.					○						
39	ミヤマメシダ	<i>Athyrium melanolepis</i> (Franch. et Sav.) Christ					○						
40	ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i> (Franch. et Sav.) Nakai	○		○		○						
41	オオサトメシダ	<i>Athyrium x multifidum</i> Rosenst.					○						
42	ヘビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i> (Franch. et Sav.) Christ	○				○						
43	イッポンワラビ	<i>Cornopteris crenulatoserrulata</i> (Makino) Nakai	○		○		○						
44	シケチシダ	<i>Cornopteris decurrentialata</i> (Hook.) Nakai					○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
45	ホソバシケシダ	<i>Deparia conillii</i> (Franch. et Sav.) M.Kato					○						
46	シケシダ	<i>Deparia japonica</i> (Thunb.) M.Kato	○		○		○						
47	ハクモウイノデ	<i>Deparia jiulungensis</i> (Ching) Z.R.Wang var. <i>albosquamata</i> (M.Kato) Z.R.Wang			○		○						
48	ミヤマシケシダ	<i>Deparia pycnosora</i> (Christ) M.Kato					○						
49	キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i> (Mett.) C.Hope	○				○						
イワデンダ科 Woodsiaceae													
50	イワデンダ	<i>Woodsia polystichoides</i> D.C.Eaton					○						
シシガシラ科 Blechnaceae													
51	オサシダ	<i>Blechnum amabile</i> Makino	○				○						
52	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i> (Kunze) Makino	○		○		○						
コウヤワラビ科 Onocleaceae													
53	クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Tod.	○		○		○						
54	コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> L. var. <i>interrupta</i> Maxim.	○		○		○						
55	イヌガンソク	<i>Pentarhizidium orientale</i> (Hook.) Hayata	○		○		○						
オンダ科 Dryopteridaceae													
56	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes miqueliana</i> (Maxim. ex Franch. et Sav.) Ohwi	○				○						
57	シノブカグマ	<i>Arachniodes mutica</i> (Franch. et Sav.) Ohwi					○						
58	リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i> (T.Moore) Ohwi	○		○		○						
59	ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J.Sm. var. <i>clivicola</i> (Makino) Tagawa	○				○						
60	ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J.Sm. var. <i>fortunei</i>					○						
61	ヤマイトチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i> (Baker) C.Chr.					○						
62	ミサキカグマ	<i>Dryopteris chinensis</i> (Baker) Koidz.					○						
63	オンダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i> Nakai					○						
64	ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze					○						
65	オオベニシダ	<i>Dryopteris hondoensis</i> Koidz.					○						
66	ミヤマベニシダ	<i>Dryopteris monticola</i> (Makino) C.Chr.	○				○						
67	トウゴクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i> Koidz.					○						
68	ミヤマイトチシダ	<i>Dryopteris sabae</i> (Franch. et Sav.) C.Chr.	○				○						
69	イワイタチシダ	<i>Dryopteris saxifraga</i> H.Itô					○						
70	タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i> (Makino) C.Chr.	○				○						
71	オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	○				○						
72	アズミイノデ	<i>Polystichum azumiense</i> (Seriz.) Seriz.					○						
73	ツルデンダ	<i>Polystichum craspedosorum</i> (Maxim.) Diels					○		N T				
74	アイアスカイノデ	<i>Polystichum longifrons</i> Sa.Kurata	○				○						
75	イワシロイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> (Kodama) Sa.Kurata var. <i>coraiense</i> (Christ ex H.L. év.) Sa.Kurata					○						
76	イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i> (Roem. ex Kunze) C.Presl					○						
77	サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i> (Kodama) Tagawa	○		○		○						
78	ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i> (Kunze) C.Presl	○		○		○						
79	ドウリョウイノデ	<i>Polystichum x anceps</i> Sa.Kurata					○						
ウラボシ科 Polypodiaceae													
80	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching			○		○						
イチョウ科 Ginkgoaceae													
81	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i> L.	○		○		○			○			○
マツ科 Pinaceae													
82	カラマツ	<i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carrière	○		○		○		L P				○
83	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
84	クタゴヨウ	<i>Pinus parviflora</i> Siebold et Zucc. var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) A.Henry			○		○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害 防止外来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
ヒノキ科 Cupressaceae													
85	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.				○							○
86	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.f.) D.Don	○			○		○					○
イチイ科 Taxaceae													
87	ハイイヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight ex Forbes) K.Koch var. <i>nana</i> (Nakai) Rehder				○		○					
ジュンサイ科 Cabombaceae													
88	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i> J.F.Gmel.						○		V U			
スイレン科 Nymphaeaceae													
89	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i> DC.						○					
90	ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi						○		V U			
センリョウ科 Chloranthaceae													
91	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus quadrifolius</i> (A.Gray) H.Ohba et S.Akiyama						○					
92	フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	○					○					
ドクダミ科 Saururaceae													
93	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	○			○		○					
ウマノスズクサ科 Aristolochiaceae													
94	ミチノクサイシン	<i>Asarum fauriei</i> Franch.						○	V U	V U			
95	ユキグニカンアオイ	<i>Asarum ikegamii</i> (F.Maek. ex Y.Maek.) T.Sugaw.	○					○		N T			
96	コシノカンアオイ	<i>Asarum megacalyx</i> (F.Maek.) T.Sugaw.				○		○	N T	N T			
97	ウスバサイシン	<i>Asarum sieboldii</i> Miq.						○					
モクレン科 Magnoliaceae													
98	キタコブシ	<i>Magnolia kobus</i> DC. var. <i>borealis</i> Sarg.	○			○		○					
99	ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i> Thunb.	○			○		○					
100	タムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i> (Siebld et Zucc.) Maxim.	○			○		○					
クスノキ科 Lauraceae													
101	ケアブラチャン	<i>Lindera praecox</i> (Siebold et Zucc.) Blume var. <i>pubescens</i> (Honda) Kitam.	○			○		○					
102	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb. var. <i>membranacea</i> (Maxim.) Momiy. ex H.Hara et M.Mizush.	○			○		○					
ショウブ科 Acoraceae													
103	ショウブ	<i>Acorus calamus</i> L.	○			○		○					
104	セキショウ	<i>Acorus gramineus</i> Sol. ex Aiton						○					
サトイモ科 Araceae													
105	マムシグサ	<i>Arisaema japonicum</i> Blume	○			○		○					
106	ヒロハテンナンショウ	<i>Arisaema ovale</i> Nakai var. <i>sadoense</i> (Nakai) J.Murata	○			○		○					
107	ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> Blume subsp. <i>urashima</i> (H.Hara) H.Ohashi et J.Murata						○					
108	アオウキクサ	<i>Lemna aoukikusa</i> Beppu et Murata subsp. <i>aoukikusa</i>				○							
109	コウキクサ	<i>Lemna minor</i> L.						○					
110	ミズバショウ	<i>Lysichiton camtschatcense</i> (L.) Schott	○			○		○					
111	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	○			○		○					
112	ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i> (L.) Schleid.				○		○					
113	ヒメザゼンソウ	<i>Symplocarpus nipponicus</i> Makino						○					
114	ザゼンソウ	<i>Symplocarpus renifolius</i> Schott ex Tzvelev	○					○		V U			
チシマゼキショウ科 Tofieldiaceae													
115	イワショウブ	<i>Triantha japonica</i> (Miq.) Baker	○					○					
オモダカ科 Alismataceae													
116	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i> A.Braun et C.D.Bouché	○					○					
117	マルバオモダカ	<i>Caldesia parnassiiifolia</i> (Bassi. ex L.) Parl.						○					
118	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino	○					○	N T	N T			
119	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i> L.	○			○		○					
120	クワイ	<i>Sagittaria trifolia</i> L. 'Caerulea'						○					○

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害 防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
トチカガミ科 Hydrocharitaceae													
121	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gürke	○				○		V U				
122	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i> (Planch.) St.John			○		○			○	重①②③		
123	イトトリゲモ	<i>Najas gracillima</i> (A.Braun ex Engelm.) Magnus					○						
124	ホッスモ	<i>Najas graminea</i> Delile			○		○						
125	ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.			○		○	V U	V U				
ヒルムシロ科 Potamogetonaceae													
126	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i> A.Benn.					○						
127	フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i> A.Benn.	○		○		○		N T				
128	ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i> Poir. var. <i>octandrus</i>			○		○						
キンコウカ科 Nartheciaceae													
129	ノギラン	<i>Metanarthecium luteoviride</i> Maxim.	○		○		○						
130	キンコウカ	<i>Narthecium asiaticum</i> Maxim.	○				○						
ヤマノイモ科 Dioscoreaceae													
131	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	○		○		○						
132	ウチワドコロ	<i>Dioscorea nipponica</i> Makino	○		○		○						
133	ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i> Turcz.					○						○
134	キクバドコロ	<i>Dioscorea septemloba</i> Thunb.	○				○						
135	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	○		○		○						
シュロソウ科 Melanthiaceae													
136	ショウジョウバカマ	<i>Helonias orientalis</i> (Thunb.) N.Tanaka	○		○		○						
137	ツクバネソウ	<i>Paris tetraphylla</i> A.Gray	○				○						
138	エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i> Makino			○		○						
139	アオヤギソウ	<i>Veratrum maackii</i> Regel var. <i>parviflorum</i> (Maxim. ex Miq.) H.Hara			○		○						
イヌサフラン科 Colchicaceae													
140	イヌサフラン	<i>Colchicum autumnale</i> L.			○		○						○
141	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i> D.Don ex Schult. et Schult.f.	○		○		○						
142	チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i> A.Gray	○		○		○						
サルトリイバラ科 Smilacaceae													
143	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> L.			○		○						
144	タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i> Miq.	○		○		○						
145	シオデ	<i>Smilax riparia</i> A.DC.	○		○		○						
ユリ科 Liliaceae													
146	オオウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino var. <i>glehnii</i> (F.Schmidt) H.Hara	○		○		○						
147	ツバメオモト	<i>Clintonia udensis</i> Trautv. et C.A.Mey.					○						
148	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	○		○		○						
149	コシノコバイモ	<i>Fritillaria koidzumiana</i> Ohwi	○				○						
150	ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> Lindl.	○		○		○						
151	コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> Hook.f. f. <i>pseudotigrinum</i> (Carrière) H.Hara et Kitam.			○		○						
152	タマガワホトトギス	<i>Tricyrtis latifolia</i> Maxim.					○						
ラン科 Orchidaceae													
153	ササバギラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	○										
154	サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i> (D.Don) Makino var. <i>variabilis</i> (Blume) I.D.Lund	○		○		○						
155	シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i> (Rchb.f.) Rchb.f.	○				○						
156	サワラン	<i>Eleorchis japonica</i> (A.Gray) F.Maek.					○		E N				
157	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i> A.Gray			○		○						
158	オニノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i> Blume					○						
159	アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> (Lindl.) Benth. ex C.B.Clarke var. <i>laevis</i> Finet	○				○						
160	ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> Rchb.f.					○						
161	ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i> Franch. et Sav.					○						
162	クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i> F.Maek.					○						
163	コケイラン	<i>Oreorchis patens</i> (Lindl.) Lindl.	○				○						
164	ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i> Maxim.					○		V U				
165	ノヤマトンボ (オオバノトンボソウ)	<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Rchb.f.					○						
166	オオヤマサギソウ	<i>Platanthera sachalinensis</i> F.Schmidt					○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
167	トンボソウ	<i>Platanthera ussuriensis</i> (Regel et Maack) Maxim.					○						
168	トキソウ	<i>Pogonia japonica</i> Rchb.f.					○	N T	E N				
169	ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M.Bieb.) H.Hara	○		○		○						
アヤメ科 Iridaceae													
170	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crocsmia x crocosmiiflora</i> (Lemoine) N.E.Br.			○		○			○	他		○
171	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai ex Makino et Nemoto					○						
172	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray	○				○	N T	N T				
173	シャガ	<i>Iris japonica</i> Thunb.	○		○		○			○			
174	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i> Fisch.					○	N T	V U				
175	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i> L.					○			○	重①②③		
ススキノキ科 Xanthorrhoeaceae													
176	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel	○		○		○						
ヒガンバナ科 Amaryllidaceae													
177	ノビル	<i>Allium macrostemon</i> Bunge	○		○		○						
178	ヒメニラ	<i>Allium monanthum</i> Maxim.					○						
179	アサツキ	<i>Allium schoenoprasum</i> L. var. <i>foliosum</i> Regel	○		○		○						○
180	ニラ	<i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng.			○		○						○
クサスギカズラ科 Asparagaceae													
181	ツルボ	<i>Barnardia japonica</i> (Thunb.) Schult. et Schult.f.					○						
182	トウギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engl.	○		○		○						
183	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram var. <i>sieboldii</i> f. <i>spathulata</i> (Miq.) W.G.Schmid	○		○		○						
184	マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i> (A.W.Wood) A.Nelson et J.F.Macbr.					○						
185	ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> A.Gray	○										○
186	ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.			○		○						
187	オオナルコユリ	<i>Polygonatum macranthum</i> (Maxim.) Koidz.	○		○		○						
188	オモト	<i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth					○		N T				○
ツククサ科 Commelinaceae													
189	ツククサ	<i>Commelina communis</i> L.	○		○		○						
190	イボクサ	<i>Murdannia keisak</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.			○		○						
191	ムラサキツククサ	<i>Tradescantia ohimensis</i> Raf.					○			○			○
ミズアオイ科 Pontederiaceae													
192	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm.f.) C.Presl ex Kunth	○		○		○						
ショウガ科 Zingiberaceae													
193	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Roscoe	○		○		○						○
ガマ科 Typhaceae													
194	ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i> Pers.					○						
195	ガマ	<i>Typha latifolia</i> L.	○		○		○						
ミクリ科 Sparganiaceae													
196	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.					○	N T	N T				
197	ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i> Graebn.	○				○	N T	V U				
198	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert					○	N T	N T				
ホシクサ科 Eriocaulaceae													
199	ホシクサ	<i>Eriocaulon cinereum</i> R.Br.					○						
200	イトイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon decemflorum</i> Maxim.					○						
201	ニッポンイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon taquetii</i> Lecomte	○		○		○						
202	ヒロハイヌノヒゲ (広義)	<i>Eriocaulon alpestre</i> Hook.f. et Thomson ex Koern.			○		○						
イグサ科 Juncaceae													
203	イグサ(イ)	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai	○		○		○						
204	アオコウガイゼキショウ	<i>Juncus papillosus</i> Franch. et Sav.	○				○						
205	コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> R.Br. subsp. <i>leschenaultii</i> (J.Gay ex Laharpe) Kirschner	○		○		○						
206	クサイ	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	○		○		○						
207	ハリコウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i> Laharpe			○		○						
208	スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. ex Kom.	○				○						
209	ヌカボシソウ	<i>Luzula plumosa</i> E.Mey. subsp. <i>plumosa</i>					○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
カヤツリグサ科 Cyperaceae													
210	ウキヤガラ	<i>Bolboschoenus fluviatilis</i> (Torr.) Soják subsp. <i>yagara</i> (Ohwi) T.Koyama					○						
211	ショウジョウスゲ	<i>Carex blepharicarpa</i> Franch.	○		○		○						
212	ハリガネスゲ	<i>Carex capillacea</i> Boott	○				○						
213	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i> Boott			○		○						
214	ナルコスゲ	<i>Carex curvicolis</i> Franch. et Sav.	○				○						
215	カサスゲ	<i>Carex dispalata</i> Boott	○		○		○						
216	ミヤマジュズスゲ	<i>Carex dissitiflora</i> Franch.					○						
217	ヤマトキリスゲ	<i>Carex flabellata</i> H.Lév. et Vaniot	○				○						
218	オクノカンスゲ	<i>Carex foliosissima</i> F.Schmidt	○		○		○						
219	アイズスゲ	<i>Carex hondoensis</i> Ohwi	○		○		○						
220	カワラスゲ	<i>Carex incisa</i> Boott					○						
221	ヒロバスゲ	<i>Carex insaniae</i> Koidz. var. <i>insaniae</i>	○				○						
222	アオバスゲ	<i>Carex insaniae</i> Koidz. var. <i>papillaticulmis</i> (Ohwi) Ohwi					○						
223	ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i> Steud.	○				○						
224	ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i> Thunb.					○						
225	アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i> Bunge	○		○		○						
226	ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i> Miq.	○		○		○						
227	ビロードスゲ	<i>Carex miyabei</i> Franch.			○		○						
228	ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i> Boott			○		○						
229	ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i> Ohwi var. <i>multifolia</i>	○		○		○						
230	ミノボロスゲ	<i>Carex nubigena</i> D.Don ex Tilloch et Taylor subsp. <i>albata</i> (Boott ex Franch. et Sav.) T.Koyama					○						
231	ミヤマシラスゲ	<i>Carex olivacea</i> Boott subsp. <i>confertiflora</i> (Boott) T.Koyama	○		○		○						
232	カワズスゲ	<i>Carex omiana</i> Franch. et Sav. var. <i>monticola</i> Ohwi					○						
233	オタルスゲ	<i>Carex otaruensis</i> Franch.	○				○		N T				
234	ナガエスゲ	<i>Carex otayae</i> Ohwi	○				○						
235	ヒメスゲ	<i>Carex oxyandra</i> (Franch. et Sav.) Kudô	○				○						
236	コジュズスゲ	<i>Carex parviflora</i> Boott var. <i>macroglossa</i> (Franch. et Sav.) Ohwi					○						
237	グレーンスゲ	<i>Carex parviflora</i> Boott var. <i>parviflora</i>	○				○						
238	ヒメゴウソ	<i>Carex phacota</i> Spreng.					○						
239	タヌキラン	<i>Carex podogyna</i> Franch. et Sav.	○		○		○						
240	シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i> Maxim.					○						
241	サドスゲ	<i>Carex sadoensis</i> Franch.	○		○		○						
242	アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i> Franch.	○		○		○						
243	タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i> Hance	○		○		○						
244	コシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> Franch. et Sav. var. <i>ikegamiana</i> T.Koyama			○		○						
245	アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> Steud.	○				○						
246	チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i> Maxim.			○		○						
247	ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>leiolepis</i> (Franch. et Sav.) T.Koyama	○		○		○						
248	タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i> L.			○		○						
249	ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i> R.Br.	○		○		○						
250	アゼガヤツリ	<i>Cyperus flavidus</i> Retz.					○						
251	コアゼガヤツリ	<i>Cyperus haspan</i> L. var. <i>tuberiferus</i> T.Koyama					○						
252	コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i> L.	○		○		○						
253	カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i> Steud.	○		○		○						
254	アオガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i> Franch. et Sav.					○						
255	ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i> Franch. et Sav.					○						
256	カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i> Vahl	○		○		○						
257	ミズガヤツリ	<i>Cyperus serotinus</i> Rottb.					○						
258	マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> (L.) Roem. et Schult. var. <i>longiseta</i> Svenson	○				○						
259	ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> D.Don var. <i>japonica</i> (Miq.) T.Koyama	○				○						
260	クログワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i> Ohwi			○		○						
261	シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i> Boeck.	○				○						
262	サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i> K.Koch					○		N T				
263	コアゼテンツキ	<i>Fimbristylis aestivalis</i> (Retz.) Vahl					○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
264	ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i> (L.) Roem. et Schult.	○		○		○						
265	テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tentsuki</i> T.Koyama			○		○						
266	ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i> Gaudich.	○		○		○						
267	ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i> Nees et Meyen	○		○		○						
268	メアゼテンツキ	<i>Fimbristylis velata</i> R.Br.					○						
269	ヒンジガヤツリ	<i>Lipocarpus microcephala</i> (R.Br.) Kunth	○				○						
270	イトイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora faberi</i> C.B.Clarke	○				○						
271	コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i> Makino					○						
272	ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotarui</i> (Ohwi) J.D.Jung et H.K.Choi			○		○						
273	イヌホタルイ	<i>Schoenoplectiella juncoide</i> (Roxb.) Lye	○				○						
274	カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i> (Roxb.) J.D.Jung et H.K.Choi	○		○		○						
275	タイワンヤマイ	<i>Schoenoplectiella wallichii</i> (Nees) Lye					○						
276	シカクホタルイ	<i>Schoenoplectiella x trapezoidea</i> (Koidz.) J.D.Jung et H.K.Choi					○						
277	シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i> (Makino) Soják					○		N T				
278	フトイ	<i>Schoenoplectus tabernaemontani</i> (C.C.Gmel.) Palla					○						
279	サンカクイ	<i>Schoenoplectus triqueter</i> (L.) Palla					○						
280	コマツカサススキ	<i>Scirpus fuirenoide</i> Maxim.	○				○						
281	アブラガヤ	<i>Scirpus wichurae</i> Boeck. f. <i>concolor</i> (Maxim.) Ohwi			○		○						
イネ科 Poaceae													
282	ヒメヌカボ	<i>Agrostis canina</i> L.					○			○			
283	ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>nukabo</i> Ohwi	○		○		○						
284	コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i> Roth	○				○			○	産		
285	ユキクラヌカボ	<i>Agrostis hideoi</i> Ohwi					○	E N	N T				
286	スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Kom.) Ohwi	○		○		○						
287	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L.					○			○	他		
288	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	○		○		○						
289	ウマノチャヒキ	<i>Bromus tectorum</i> L.			○								
290	ヒメノガリヤス	<i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. et Sav.					○						
291	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i> L.			○		○			○	産		
292	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler	○		○		○						
293	アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i> Link					○						
294	カリマタガヤ	<i>Dimeria ornithopoda</i> Trin. var. <i>tenera</i> (Trin.) Hack.			○		○						
295	アブラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) A.Camus					○						
296	ケイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>aristata</i> Gray	○		○		○						
297	イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>crus-galli</i>	○		○		○						
298	タイヌビエ	<i>Echinochloa oryzicola</i> (Vasing.) Vasing.			○		○						
299	オヒシバ	<i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.	○		○		○						
300	カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada					○						
301	スズメガヤ	<i>Eragrostis cilianensis</i> (All.) Link ex Janchen		○									
302	カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) P.Beauv.			○		○						
303	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i> Host					○			○			
304	ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.	○		○		○						
305	ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i> (Thunb.) Kunth			○		○						
306	トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i> Steud.	○				○						
307	ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyronura</i> Steud.					○						
308	ヒロハノドジョウツナギ	<i>Glyceria leptolepis</i> Ohwi					○		N T				
309	ウシノシッペイ	<i>Hemarthra sibirica</i> (Gandog.) Ohwi					○						
310	チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg.	○		○		○						
311	チゴザサ	<i>Isachne globosa</i> (Thunb.) Kuntze	○		○		○						
312	アシカキ	<i>Leersia japonica</i> (Honda) Makino ex Honda					○						
313	サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i> Ohwi			○		○						
314	キタササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i> Franch. et Sav. var. <i>boreale</i> (Ohwi) Ibaragi et Yonek.					○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
315	ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i> Franch. et Sav. var. <i>japonicum</i>					○						
316	ミヤマササガヤ	<i>Leptatherum nudum</i> (Twin.) C.H.Chen, C.S.Kuoh et Veldkamp					○						
317	アゼガヤ	<i>Leptochloa chinensis</i> (L.) Nees					○						
318	ヒメアシボン	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A.Camus f. <i>willdenowianum</i> (Nees)					○						
319	オオヒゲナガカリヤスモドキ	<i>Miscanthus intermedius</i> (Honda) Honda	○		○		○						
320	オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.					○						
321	ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	○		○		○						
322	ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i> (Hack.) Hayata	○				○						
323	オオネズミガヤ	<i>Muhlenbergia huegelii</i> Trin.		○									
324	ネズミガヤ	<i>Muhlenbergia japonica</i> Steud.	○		○		○						
325	ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.			○		○						
326	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	○		○		○			○	他		
327	スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud.	○		○		○						
328	チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.	○		○		○						
329	クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i> L.					○						
330	ヨシ	<i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.	○		○		○						
331	ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i> Steud.	○				○						
332	ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i> Steud.	○				○						
333	スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.	○		○		○						
334	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i> L. subsp. <i>pratensis</i>					○			○			
335	イチゴツナギ	<i>Poa sphondylodes</i> Trin.					○						
336	ハイヌメリグサ	<i>Sacciolepis spicata</i> (L.) Honda ex Masam. var. <i>spicata</i>	○		○		○						
337	チシマザサ	<i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino et Shibata	○		○		○						
338	チマキザサ	<i>Sasa palmata</i> (Lat.-Marl. ex Burb.) E.G.Camus	○		○		○						
339	クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i> (Franch. et Sav.) Rehder					○						
340	オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i> (Scop.) Holub					○			○	産		
341	ヒロハノウシノケグサ	<i>Schedonorus pratensis</i> (Huds.) P.Beauv.					○			○			○
342	ウシクサ	<i>Schizachyrium brevifolium</i> (Sw.) Nees ex Büse	○				○						
343	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.	○		○		○						
344	アワ	<i>Setaria italica</i> (L.) P.Beauv.					○			○			○
345	コツブキンエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i> (Schumach.) Stapf et C.E.Hubb.					○						
346	キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i> (Poir.) Roem. et Schult.	○		○		○						
347	ムラサキエノコロ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P.Beauv. f. <i>misera</i> Honda					○						
348	ミヤマアブラススキ	<i>Spodiopogon depauperatus</i> Hack.					○						
349	カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i> (Thunb.) Ohwi			○		○						
350	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> (L.) C.C.Gmel.					○			○	産		
351	マコモ	<i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Turcz. ex Stapf			○		○						
352	シバ	<i>Zoysia japonica</i> Steud.	○		○		○						
353	チヂミザサ (広義)	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult.	○		○		○						
354	トダシバ (広義)	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka					○						
355	アシボン (広義)	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A.Camus	○		○		○						
ケシ科 Papaveraceae													
356	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> H.Hara	○		○		○						
357	ミチノクエンゴサク	<i>Corydalis capillipes</i> Franch.	○				○						
358	オトメエンゴサク	<i>Corydalis fukuoharæ</i> Lidén	○		○		○						
359	ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.			○		○						
360	タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R.Br.	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
アケビ科 Lardizabalaceae													
361	ミツバアケビ	Akebia trifoliata (Thunb.) Koidz.	○		○		○						
ツツラフジ科 Menispermaceae													
362	アオツツラフジ	Cocculus trilobus (Thunb.) DC.	○				○						
363	コウモリカズラ	Menispermum dauricum DC.					○						
メギ科 Berberidaceae													
364	サンカヨウ	Diphylleia grayi F.Schmidt	○				○						
365	イカリソウ	Epimedium grandiflorum C.Morren var. thunbergianum (Miq.) Nakai					○		N T				
366	キバナイカリソウ	Epimedium koreanum Nakai			○		○						
367	ナンテン	Nandina domestica Thunb.					○						○
キンボウゲ科 Ranunculaceae													
368	ニリンソウ	Anemone flaccida F.Schmidt					○						
369	ククザキイチゲ	Anemone pseudoaltaica H.Hara	○		○		○						
370	アズマイチゲ	Anemone raddeana Regel	○				○						
371	ヤマオダマキ	Aquilegia buergeriana Siebold et Zucc. var. buergeriana					○		V U				○
372	エンコウソウ	Caltha palustris L. var. enkoso H.Hara					○		V U				
373	サラシナショウマ	Cimicifuga simplex (DC.) Wormsk. ex Turcz.					○						
374	ボタンヅル	Clematis apiifolia DC. var. apiifolia	○		○		○						
375	コボタンヅル	Clematis apiifolia DC. var. biternata Makino	○										
376	クサボタン	Clematis stans Siebold et Zucc.					○						
377	トリガタハンショウヅル	Clematis tosaensis Makino	○		○								
378	アズマシロカネソウ	Dichocarpum nipponicum (Franch.) W.T.Wang et P.K.Hsiao	○		○		○						
379	オキナグサ	Pulsatilla cernua (Thunb.) Berchtold et J.Presl			○			V U	E N				
380	ケキツネノボタン	Ranunculus cantoniensis DC.	○				○						
381	バイカモ	Ranunculus nipponicus Nakai var. submersus H.Hara					○		V U				
382	キツネノボタン	Ranunculus silerifolius H.Lév. var. glaber (H.Boissieu) Tamura			○		○						
383	アキカラマツ	Thalictrum minus L. var. hypoleucum (Siebold et Zucc.) Miq.	○		○		○						
384	オウレン	Coptis japonica (Thunb.) Makino			○		○						
ハス科 Nelumbonaceae													
385	ハス	Nelumbo nucifera Gaertn.					○						○
ツゲ科 Buxaceae													
386	フッキソウ	Pachysandra terminalis Siebold et Zucc.	○				○						
マンサク科 Hamamelidaceae													
387	マルバマンサク	Hamamelis japonica Siebold et Zucc. var. discolor (Nakai) Sugim. f. obtusata (Makino) H.Ohba	○		○		○						
カツラ科 Cercidiphyllaceae													
388	カツラ	Cercidiphyllum japonicum Siebold et Zucc. ex Hoffm. et Schult.					○						
ユズリハ科 Daphniphyllaceae													
389	エゾユズリハ	Daphniphyllum macropodum Miq. subsp. humile (Maxim. ex Franch. et Sav.) Hurus.	○		○		○						
ユキノシタ科 Saxifragaceae													
390	トリアシショウマ	Astilbe odontophylla Miq.	○		○		○						
391	ホクリクネコノメ	Chrysosplenium fauriei Franch.	○				○						
392	ネコノメソウ	Chrysosplenium grayanum Maxim.					○						
393	チシマネコノメソウ	Chrysosplenium kamtschaticum Fisch. ex Ser.					○						
394	コシノチャルメルソウ	Mitella koshiensis Ohwi	○		○		○						
395	コチャルメルソウ	Mitella pauciflora Rosend.					○						
396	ヤグルマソウ	Rodgersia podophylla A.Gray					○						
397	ダイモンジソウ	Saxifraga fortunei Hook.f. var. alpina (Matsum. et Nakai) Nakai	○		○		○						
398	ユキノシタ	Saxifraga stolonifera Curtis					○						
399	ズダヤクシュ	Tiarella polyphylla D.Don	○				○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
ベンケイソウ科 Crassulaceae													
400	キリンソウ	<i>Phedimus aizoon</i> (L.) 't Hart var. <i>floribundus</i> (Nakai) H.Ohba	○		○		○						
401	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	○				○						
402	ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i> Bunge	○		○		○			○			
タコノアシ科 Penthoraceae													
403	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i> Pursh					○						
アリノトウグサ科 Haloragaceae													
404	アリノトウグサ	<i>Haloragis micrantha</i> (Thunb.) R.Br.	○		○		○						
405	フサモ	<i>Myriophyllum verticillatum</i> L.					○						
ブドウ科 Vitaceae													
406	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.	○		○		○						
407	ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.	○		○		○						
408	ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.) Planch.	○		○		○						
409	ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i> Pulliat ex Planch.	○				○						
410	エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge			○		○						
411	サンカクヅル	<i>Vitis flexuosa</i> Thunb.	○		○		○						
フウロソウ科 Geraniaceae													
412	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold ex Lindl. et Paxton	○		○		○						
キブシ科 Stachyuraceae													
413	ケキブシ	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zucc. f. <i>leucotrichus</i> (Hayashi) H.Hara	○		○		○						
ミソハギ科 Lythraceae													
414	ヒメミソハギ	<i>Ammannia multiflora</i> Roxb.					○						
415	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i> (Koehne) Makino	○		○		○						
416	キカシグサ	<i>Rotala indica</i> (Willd.) Koehne	○		○		○						
417	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schtdl.					○	V U	V U				
418	ヒシ	<i>Trapa japonica</i> Flerow	○		○		○						
アカバナ科 Onagraceae													
419	ウシタキソウ	<i>Circaea cordata</i> Royle	○				○						
420	ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
421	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.	○		○		○						
422	チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim. Subsp. <i>Epilobioides</i>	○		○		○						
423	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i> L.	○		○		○			○			
マメ科 Fabaceae													
424	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i> L.	○				○						
425	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	○		○		○			○			○
426	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i> L.	○		○		○			○	重①②④		○
427	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) H.Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliv.) H.Ohashi	○		○		○						
428	ホドイモ	<i>Apios fortunei</i> Maxim.	○		○		○						
429	カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i> (Makino) H.Ohashi	○		○		○						
430	ツルマメ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) H.Ohashi	○				○						
431	フジカンゾウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i> (Oliv.) H.Ohashi & R.R.Mill <i>Hylodesmum paucarpum</i> (DC.) H.Ohashi & R.R.Mill subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H.Ohashi & R.R.Mill var. <i>japonicum</i> (H.Ohashi & R.R.Mill)					○		V U				
432	ヌスビトハギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsum.	○		○		○						
433	コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsum.					○						
434	マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i> (Maxim.) Makino				○							
435	ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindl.	○		○		○						
436	ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	○		○		○						
437	メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum.Cours.) G.Don			○		○						
438	ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.					○						
439	ケハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai subsp. <i>patens</i> (Nakai) H.Ohashi			○		○						
440	タテヤマハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai subsp. <i>patens</i> (Nakai) H.Ohashi f. <i>sericea</i> (Matsum.) H.Ohashi					○						
441	セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> L. var. <i>corniculatus</i>					○			○			

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義)を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
442	イヌエンジュ	<i>Maackia amurensis</i> Rupr. et Maxim.	○		○		○						
443	シロバナシナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pall. subsp. <i>albus</i> (Medik.) H. Ohashi et Tateishi					○			○			
444	クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	○		○		○						
445	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	○				○			○	産		○
446	クララ	<i>Sophora flavescens</i> Aiton					○						
447	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i> Sibth.					○			○			
448	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i> L.	○				○			○			
449	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> L.	○		○		○			○			
450	ツルフジバカマ	<i>Vicia amoena</i> Fisch. ex Ser. <i>Vicia venosa</i> (Willd. ex Link) Maxim. subsp. <i>cuspidata</i> (Maxim.) Y. Endo et H. Ohashi var. <i>cuspidata</i> Maxim.					○						
451	エビラフジ	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et H. Ohashi var. <i>nipponensis</i> (Ohwi) Ohwi et H. Ohashi	○		○		○						
452	ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et H. Ohashi var. <i>nipponensis</i> (Ohwi) Ohwi et H. Ohashi	○		○		○						
453	フジ	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	○		○		○						
ヒメハギ科 Polygalaceae													
454	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i> Houtt.	○		○		○						
バラ科 Rosaceae													
455	ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i> Koidz.	○				○						
456	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	○		○		○						
457	アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.	○		○		○						
458	ヤマブキショウマ	<i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H. Hara	○		○		○						
459	オクチョウジザクラ	<i>Cerasus apetala</i> (Siebold et Zucc.) Ohle ex H. Ohba var. <i>pilosa</i> (Koidz.) H. Ohba	○		○		○						
460	カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i> (Koehne) H. Ohba					○						
461	コシジシモツケソウ	<i>Filipendula auriculata</i> (Ohwi) Kitam.	○		○		○						
462	ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i> Thunb.	○				○						
463	ウワミズザクラ	<i>Padus grayana</i> (Maxim.) C.K. Schneid.	○		○		○						
464	ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centigrana</i> Maxim.	○		○		○						
465	ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	○		○		○						
466	ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i> Yonek. et H. Ohashi			○		○						
467	エチゴキジムシロ	<i>Potentilla togasii</i> Ohwi					○						
468	カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>villosa</i>					○						
469	スモモ	<i>Prunus salicina</i> Lindl.	○		○								○
470	ミチノクナシ	<i>Pyrus ussuriensis</i> Maxim. var. <i>ussuriensis</i>					○						
471	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	○		○		○						
472	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge			○		○						
473	ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i> L.	○		○		○						
474	ナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl.					○						
475	サビバナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl. var. <i>rufoferruginea</i> C.K. Schneid.	○		○		○						
グミ科 Elaeagnaceae													
476	トウグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>hortensis</i> (Maxim.) Servett.	○				○						○
477	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i> Thunb. var. <i>umbellata</i>	○				○						
クロウメモドキ科 Rhamnaceae													
478	ホナガクマヤナギ	<i>Berberis longiracemosa</i> Okuyama	○		○		○						
479	クマヤナギ	<i>Berberis racemosa</i> Siebold et Zucc.	○				○						
480	イソノキ	<i>Frangula crenata</i> (Siebold et Zucc.) Miq.					○						
481	ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i> Thunb.	○		○								
482	ケケンボナシ	<i>Hovenia trichocarpa</i> Chun et Tsiang var. <i>robusta</i> (Nakai et Y. Kimura) Y.L. Chen et P.K. Chou					○						
483	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> Maxim. var. <i>decipiens</i> Maxim.		○									
484	エゾノクロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> Maxim. var. <i>japonica</i>					○						
ニレ科 Ulmaceae													
485	ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai					○						
486	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	○		○		○						
アサ科 Cannabaceae													

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッド・データブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
487	エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers.			○		○						
488	カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> L. var. <i>cordifolius</i> (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.					○						
489	カナムグラ	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.					○						
クワ科 Moraceae													
490	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia mononica</i> Hance	○		○		○						
491	コウゾ	<i>Broussonetia</i> x <i>kazinoki</i> Siebold			○		○						
492	クワクサ	<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai	○		○		○						
493	ヤマグワ	<i>Morus australis</i> Poir.	○		○		○						
イラクサ科 Urticaceae													
494	カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>concolor</i> Makino f. <i>nipponnivea</i> (Koidz.) Kitam. ex H. Ohba	○		○		○						
495	アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i> (Pamp.) W.T. Wang	○		○		○						
496	ウワバミソウ	<i>Elatostema involucreatum</i> Franch. et Sav.			○		○						
497	ヤマトキホコリ	<i>Elatostema laetevirens</i> Makino	○		○		○						
498	ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i> (Siebold et Zucc.) Wedd.			○		○						
499	ミヤマイラクサ	<i>Laportea cuspidata</i> (Wedd.) Friis					○						
500	ミズ	<i>Pilea hamaoi</i> Makino	○		○		○						
501	アオミズ	<i>Pilea pumila</i> (L.) A. Gray			○		○						
ドクウツギ科 Coriariaceae													
502	ドクウツギ	<i>Coriaria japonica</i> A. Gray					○						
ウリ科 Cucurbitaceae													
503	ゴキツル	<i>Actinostemma tenerum</i> Griff.					○						
504	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	○		○		○						
505	ミヤマニガウリ	<i>Schizopepon bryoniifolius</i> Maxim.					○						
506	キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.			○		○						
507	スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H.Y. Liu	○		○		○						
ブナ科 Fagaceae													
508	クリ	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
509	ブナ	<i>Fagus crenata</i> Blume	○		○		○						
510	ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i> Blume	○		○		○						
511	ミズナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume	○		○		○						
512	ミヤマナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H. Ohba	○		○		○						
513	コナラ	<i>Quercus serrata</i> Murray	○		○		○						
クルミ科 Juglandaceae													
514	ヒメグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>cordiformis</i> (Makino) Kitam.					○						
515	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Komatsu) Kitam.	○		○		○						
516	サワグルミ	<i>Pterocarya rhoifolia</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
カバノキ科 Betulaceae													
517	ミヤマカワラハンノキ	<i>Alnus fauriei</i> H. Lévl. et Vaniot			○		○						
518	ヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i> (Spach) Turcz. ex Rupr. var. <i>sibirica</i> (Spach) C.K. Schneid.					○						
519	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.					○						
520	ヒメヤシャブシ	<i>Alnus pendula</i> Matsum.			○		○						
521	ミズメ	<i>Betula grossa</i> Siebold et Zucc.					○						
522	ウダイカンバ	<i>Betula maximowicziana</i> Regel					○						
523	シラカンバ	<i>Betula platyphylla</i> Sukaczew. var. <i>japonica</i> (Miq.) H. Hara			○								
524	サワシバ	<i>Carpinus cordata</i> Blume			○		○						
525	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume	○		○		○						
526	ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> Blume var. <i>sieboldiana</i>	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害 防止外来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
ニシキギ科 Celastraceae													
527	イワウメツル	<i>Celastrus flagellaris</i> Rupr.					○			○			
528	オニツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>strigillosus</i> (Nakai) H.Hara				○							
529	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>orbiculatus</i>	○		○		○						
530	ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>alatus</i>					○						○
531	コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold var. <i>alatus</i> f. <i>striatus</i> (Thunb.) Makino	○		○		○						
532	ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> (Turcz.) Hand.- Mazz.					○						
533	エゾツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq. var. <i>magnus</i> Honda	○				○						
534	ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq. var. <i>oxyphyllus</i>			○								
535	カントウマユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume var. <i>sanguineus</i> Nakai	○		○		○						
536	マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume				○							
537	オオシラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook.f. et Thomson var. <i>japonica</i> (Nakai) Ohwi	○				○		V U				
538	クロツル	<i>Tripterygium regelii</i> Sprague et Takeda					○						
カタバミ科 Oxalidaceae													
539	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.	○		○		○						
540	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig					○			○			
541	オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i> Jacq.			○		○			○			
542	ミヤマカタバミ	<i>Oxalis griffithii</i> Edgew. et Hook.f.	○		○		○						
543	エゾタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i> L.	○		○		○						
トウダイグサ科 Euphorbiaceae													
544	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i> L.	○		○		○						
545	コニシキソウ	<i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small	○		○		○			○			
546	オオニシキソウ	<i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small					○			○			
547	ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i> C.Morren et Decne.	○				○						
548	シナノタイゲキ	<i>Euphorbia sinanensis</i> (Hurus.) T.Kuros. et H.Ohashi	○				○						
ミカンソウ科 Phyllanthaceae													
549	ヒメミカンソウ	<i>Phyllanthus ussuriensis</i> Rupr. et Maxim.			○		○						
ミゾハコベ科 Elatinaceae													
550	ミゾハコベ	<i>Elatine triandra</i> Schkuhr var. <i>pedicellata</i> Krylov					○						
オトギリソウ科 Hypericaceae													
551	トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i> L. subsp. <i>ascyron</i> var. <i>ascyron</i>					○		V U				
552	オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	○		○		○						
553	コケオトギリ	<i>Hypericum laxum</i> (Blume) Koidz.	○		○		○						
554	サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolatum</i> R.Keller	○		○		○						
555	ミズオトギリ	<i>Triadenum japonicum</i> (Blume) Makino	○				○						
スミレ科 Violaceae													
556	オオバキスミレ	<i>Viola brevistipulata</i> (Franch. et Sav.) W.Becker subsp. <i>brevistipulata</i>	○		○		○						
557	アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i> W.Becker et H.Boissieu	○		○		○						
558	ヒメスミレ	<i>Viola inconspicua</i> Blume subsp. <i>nagasakiensis</i> (W.Becker) J.C.Wang et T.C.Huang			○		○						
559	コスミレ	<i>Viola japonica</i> Langsd. ex DC.	○		○		○						
560	オオタチツボスミレ	<i>Viola kusanoana</i> Makino	○		○		○						
561	スミレ	<i>Viola mandshurica</i> W.Becker	○		○		○						
562	ナガハシスミレ	<i>Viola rostrata</i> Pursh	○		○		○						
563	ミヤマスミレ	<i>Viola selkirkii</i> Pursh ex Goldie					○						
564	サンシキスミレ	<i>Viola tricolor</i> L.					○			○			○
565	スミレサイシン	<i>Viola vaginata</i> Maxim.	○		○		○						
566	ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray	○		○		○						
567	マキノスミレ	<i>Viola violacea</i> Makino var. <i>makinoi</i> (H.Boissieu) Hiyama ex F.Maek.	○		○		○						
568	ヘイリンジスミレ	<i>Viola</i> x <i>hiyamae</i> F.Maek.	○										
569	ノジスミレ	<i>Viola yedoensis</i> Makino			○		○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害 防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
ヤナギ科 Salicaceae													
570	セイヨウハコヤナギ （ポプラ）	<i>Populus nigra</i> L. var. <i>italica</i> (Duroi) Koehne					○			○			○
571	ヤマナラシ	<i>Populus tremula</i> L. var. <i>sieboldii</i> (Miq.) Kudô	○		○		○						
572	バッコヤナギ （ヤマネコヤナギ）	<i>Salix caprea</i> L.			○		○						
573	シロヤナギ	<i>Salix dolichostyla</i> Seemen subsp. <i>dolichostyla</i>	○		○		○						
574	オオキツネヤナギ	<i>Salix futura</i> Seemen	○				○						
575	ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i> Miq.					○						
576	イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i> Thunb.	○				○						
577	カワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> Seemen subsp. <i>gymnolepis</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Ohashi et Yonek.					○						
578	タチヤナギ	<i>Salix triandra</i> L. subsp. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) A.K.Skvortsov	○				○						
579	オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i> Trautv. et C.A.Mey.	○				○						
580	キツネヤナギ	<i>Salix vulpina</i> Andersson subsp. <i>vulpina</i>					○						
アブラナ科 Brassicaceae													
581	ヤマハタザオ	<i>Arabis hirsuta</i> (L.) Scop.					○						
582	ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i> R.Br.					○			○	他		
583	ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.			○		○						
584	オオケタネツケバナ	<i>Cardamine dentipetala</i> Matsum.	○				○						
585	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i> L.	○		○		○			○			
586	コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i> (Tausch) O.E.Schulz					○						
587	コシジタネツケバナ	<i>Cardamine niigatensis</i> H.Hara	○				○						
588	オオバタネツケバナ	<i>Cardamine regeliana</i> Miq.	○		○		○						
589	タネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	○		○		○						
590	ワサビ	<i>Eutrema japonicum</i> (Miq.) Koidz.			○		○						○
591	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.					○			○			
592	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i> R.Br.					○			○	重①③④		
593	イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	○		○		○						
594	スカシタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i> (L.) Besser	○		○		○						
595	キレハイヌガラシ	<i>Rorippa sylvestris</i> (L.) Besser					○			○			
ウルシ科 Anacardiaceae													
596	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T.Yamaz.	○		○		○						
597	ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> Greene	○		○		○						
598	ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i> (Miq.) Kuntze	○		○		○						
599	ウルシ	<i>Toxicodendron vernicifluum</i> (Stokes) F.A.Barkley	○				○						○
ムクロジ科 Sapindaceae													
600	ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> Carrière var. <i>matsumurae</i> (Koidz.) K.Ogata	○		○		○						
601	ヒトツバカエデ	<i>Acer distylum</i> Siebold et Zucc.	○				○						
602	ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i> Thunb.	○		○		○						
603	テツカエデ	<i>Acer nipponicum</i> H.Hara subsp. <i>nipponicum</i> var. <i>nipponicum</i>	○		○		○						
604	ウラジロイタヤ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>glaucum</i> (Koidz.) H.Ohashi	○				○						
605	アカイタヤ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>mayrii</i> (Schwer.) H.Ohashi	○		○		○						
606	ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
607	コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i> Miq.	○				○						
608	ミネカエデ	<i>Acer tschonoskii</i> Maxim.					○						
609	トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume					○						
610	ウラゲトチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume f. <i>pubescens</i> (Rehder) Ohwi ex Yas.Endo	○				○						
ニガキ科 Simaroubaceae													
611	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle					○			○	重①③		○
センダン科 Meliaceae													
612	チャンチン	<i>Toona sinensis</i> (A.Juss.) M.Roem.			○		○			○			○

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害 防止外来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
ミカン科 Rutaceae													
613	キハダ	<i>Phellodendron amurense</i> Rupr.	○		○		○						
614	サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	○		○		○						
615	ヤマアサクラザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC. f. <i>brevispinum</i> (Makino) Makino					○						
アオイ科 Malvaceae													
616	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i> Medik.					○			○			
617	カラスノゴマ	<i>Corchoropsis crenata</i> Siebold et Zucc.					○		L P				
618	アメリカフヨウ	<i>Hibiscus moscheutos</i> L.	○							○			○
619	ゼニバアオイ	<i>Malva neglecta</i> Wallr.					○			○			
620	オオバボダイジュ	<i>Tilia maximowicziana</i> Shiras.	○				○						
ビャクダン科 Santalaceae													
621	ツクバネ	<i>Buckleya lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Miq.					○						
622	カナビクソウ	<i>Thesium chinense</i> Turcz.					○						
623	ヤドリギ	<i>Viscum album</i> L. subsp. <i>coloratum</i> Kom.					○						
タデ科 Polygonaceae													
624	ソバ	<i>Fagopyrum esculentum</i> Moench					○						○
625	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>uzenensis</i> (Honda) Yonek. et H.Ohashi	○		○		○						
626	ツルドクダミ	<i>Fallopia multiflora</i> (Thunb.) Haraldson				○				○	他		
627	オオイタドリ	<i>Fallopia sachalinensis</i> (F.Schmidt) Ronse Decr.	○				○			○			
628	ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee	○		○		○						
629	ギンミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee f. <i>albiflora</i> (Hiyama) Yonek.	○		○		○						
630	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i> (L.) Delarbre	○		○		○						
631	シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> (Meisn.) Nakai ex Ohki					○						
632	オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Delarbre var. <i>lapathifolia</i>			○		○						
633	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i> (Bruijn) Kitag.	○		○		○						
634	ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i> (Meisn.) Nemoto	○		○		○						
635	タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i> (Meisn.) H.Gross					○						
636	サクラタデ	<i>Persicaria odorata</i> (Lour.) Soják subsp. <i>conspicua</i> (Nakai) Yonek.					○						
637	オオケタデ	<i>Persicaria orientalis</i> (L.) Spach					○			○			
638	イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H.Gross	○		○		○						
639	ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross	○		○		○						
640	ボントクタデ	<i>Persicaria pubescens</i> (Blume) H.Hara					○						
641	アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki	○				○						
642	トゲソバ （ママコノシリヌグイ）	<i>Persicaria senticosa</i> (Meisn.) H.Gross	○				○						
643	ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross			○		○						
644	ネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> (Makino) H.Gross var. <i>viscofera</i>	○				○						
645	スイバ	<i>Rumex acetosa</i> L.	○		○		○			○			
646	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> L. subsp. <i>pyrenaicus</i> (Pourret ex Lapeyr.) Akeroyd	○				○			○	他		
647	ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i> DC.					○	V U	V U				
648	エゾノギンギシ	<i>Rumex obtusifolius</i> L.	○		○		○			○	他		
モウセンゴケ科 Droseraceae													
649	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i> L.	○		○		○						
ナデシコ科 Caryophyllaceae													
650	ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H.Hara	○		○		○						
651	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	○		○		○			○			
652	ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	○		○		○						
653	ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i> L.					○			○	他		○
654	ナンバンハコベ	<i>Silene baccifera</i> (L.) Roth var. <i>japonica</i> (Miq.) H.Ohashi et H.Nakai					○						
655	フシグロ	<i>Silene firma</i> Siebold et Zucc.					○						
656	ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray var. <i>undulata</i> (Thunb.) Fenzl	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
657	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	○		○		○						
658	オオサワハコベ	<i>Stellaria diversiflora</i> Maxim. f. <i>robusta</i> M.Mizush.	○				○						
659	コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	○		○		○						
660	ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i> Weihe		○	○								
661	ミヤマハコベ	<i>Stellaria sessiliflora</i> Y.Yabe		○									
ヒユ科 Amaranthaceae													
662	イノコヅチ (広義)	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume	○		○		○						
663	イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i> L.					○			○			
664	ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i> L.					○			○			
665	ホナガアオゲイトウ	<i>Amaranthus powellii</i> S.Watson					○			○			
666	アオゲイトウ	<i>Amaranthus retroflexus</i> L.					○			○			
667	シロザ	<i>Chenopodium album</i> L.	○				○						
ザクロソウ科 Molluginaceae													
668	ザクロソウ	<i>Mollugo stricta</i> L.	○		○		○						
669	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i> L.			○		○			○			
スベリヒユ科 Portulacaceae													
670	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i> L.	○		○		○						
ヤマゴボウ科 Phytolaccaceae													
671	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i> L.			○		○			○			
ミズキ科 Cornaceae													
672	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> (Siebold et Zucc.) Harms var. <i>trilobatum</i> (Miq.) Ohwi					○						
673	ミズキ	<i>Cornus controversa</i> Hemsl. ex Prain	○		○		○						
674	ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> Buerger ex Hance subsp. <i>kousa</i>	○		○		○						
アジサイ科 Hydrangeaceae													
675	クサアジサイ	<i>Cardiandra alternifolia</i> Siebold et Zucc.	○				○		L P				
676	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc.			○		○						
677	ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold					○						
678	ツルアジサイ	<i>Hydrangea petiolaris</i> Siebold et Zucc.					○						
679	エゾアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>yesoensis</i> (Koidz.) H.Ohba	○		○		○						
680	イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i> Siebold et Zucc.			○		○						
カキノキ科 Ebenaceae													
681	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	○		○		○						○
ツリフネソウ科 Balsaminaceae													
682	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i> L.	○		○		○						
683	ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i> Miq.	○		○		○						
モッコク科 Ternstroemiaceae													
684	ヒサカキ	<i>AEurya japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>					○						
サクラソウ科 Primulaceae													
685	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	○		○		○						
686	オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i> Duby	○		○		○						
687	ヌマトラノオ	<i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.					○						
688	コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	○		○		○						
ツバキ科 Theaceae													
689	ユキツバキ	<i>Camellia rusticana</i> Honda	○		○		○						
690	チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze					○		V U				○
ハイノキ科 Symplocaceae													
691	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i> Nagam.	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
イワウメ科 Diapensiaceae													
692	オオイワカガミ	<i>Schizocodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc. var. <i>magnus</i> (Makino) H.Hara	○		○		○						
693	オオイワウチワ	<i>Shortia uniflora</i> (Maxim.) Maxim. var. <i>uniflora</i>			○		○						
エゴノキ科 Styracaceae													
694	エゴノキ	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.					○						
695	ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
マタタビ科 Actinidiaceae													
696	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq.	○				○						
697	キウイフルーツ	<i>Actinidia chinensis</i> Planch. var. <i>deliciosa</i> (A.Cheval.) A.Cheval.			○					○			○
698	マタタビ	<i>Actinidia polygama</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Maxim.	○		○		○						
リョウブ科 Clethraceae													
699	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
ツツジ科 Ericaceae													
700	ホツツジ	<i>Elliottia paniculata</i> (Siebold et Zucc.) Hook.f.	○		○		○						
701	イワナシ	<i>Epigaea asiatica</i> Maxim.	○		○		○						
702	ハナヒリノキ	<i>Eubotryoides grayana</i> (Maxim.) H.Hara var. <i>grayana</i>	○		○		○						
703	アカモノ	<i>Gaultheria adenothrix</i> (Miq.) Maxim.					○						
704	ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> (Wall.) Drude var. <i>elliptica</i> (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.	○				○						
705	ギンリョウソウモドキ （アキノギンリョウソウ）	<i>Monotropa uniflora</i> L.					○						
706	ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara					○						
707	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> Klenze ex Alefeld					○						
708	ムラサキヤシオツツジ	<i>Rhododendron albrechtii</i> Maxim.					○						
709	ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>kaempferi</i>	○		○		○						
710	ユキグニミツバツツジ	<i>Rhododendron lagopus</i> Nakai var. <i>niphophilum</i> (T.Yamaz.) T.Yamaz.	○		○		○						
711	レンゲツツジ	<i>Rhododendron molle</i> (Blume) G.Don subsp. <i>japonicum</i> (A.Gray) K.Kron	○		○		○						
712	ウラジロヨウラク	<i>Rhododendron multiflorum</i> (Maxim.) Craven	○		○		○						
713	オオコメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> Maxim. subsp. <i>trinerve</i> (Franch. ex H.Boissieu) Kitam.	○				○						
714	ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> Thunb. var. <i>pubescens</i> (Koidz.) T.Yamaz.			○		○						
715	アクシバ	<i>Vaccinium japonicum</i> Miq.	○		○		○						
716	ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i> Miq.			○		○						
717	オオバスのノキ	<i>Vaccinium smallii</i> A.Gray var. <i>smallii</i>	○		○		○						
アオキ科 Aucubaceae													
718	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. var. <i>borealis</i> Miyabe et Kudô	○		○		○						
アカネ科 Rubiaceae													
719	クルマムグラ	<i>Galium japonicum</i> Makino					○						
720	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Desp.					○						
721	ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i> A.Gray	○		○		○						
722	ホソバナ ヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> L. subsp. <i>columbianum</i> (Rydb.) Hultén					○						
723	キバナカワラマツバ	<i>Galium verum</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> (Nakai) T.Yamaz.					○						
724	ツルアリドオシ	<i>Mitchella undulata</i> Siebold et Zucc.	○		○		○						
725	オオハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> (L.f.) W.H.Lewis var. <i>glabra</i> (Honda) H.Hara	○		○		○						
726	ハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> (L.f.) W.H.Lewis var. <i>hirsuta</i>	○		○		○						
727	フタバムグラ	<i>Oldenlandia brachypoda</i> DC.					○						
728	ヤイトバナ（ヘクソカズラ）	<i>Paederia foetida</i> L.	○		○		○						
729	アカネ	<i>Rubia argyi</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex Lauener et D.K.Ferguson	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害 防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
リンドウ科 Gentianaceae													
730	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.	○		○		○						
731	エゾリンドウ	<i>Gentiana triflora</i> Pall. var. <i>japonica</i> (Kusn.) H.Hara	○				○						
732	フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawc.			○		○						
733	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	○		○		○						
キョウチクトウ科 Apocynaceae													
734	イケマ	<i>Cynanchum caudatum</i> (Miq.) Maxim.	○				○						
735	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino					○						
736	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i> L.			○					○	重		○
737	スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i> Kitag.					○	N T	V U				
738	シロバナカモメヅル	<i>Vincetoxicum sublancoelatum</i> (Miq.) Maxim. var. <i>macranthum</i> Maxim.	○		○		○						
ムラサキ科 Boraginaceae													
739	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J.Jacq.) Druce	○		○		○						
740	ノハラムラサキ	<i>Myosotis arvensis</i> (L.) Hill			○		○			○			
741	ワスレナグサ (シンワスレナグサ)	<i>Myosotis scorpioides</i> L.					○			○			
742	エチゴルリソウ	<i>Omphalodes krameri</i> Franch. et Sav. var. <i>laevisperma</i> (Nakai) Ohwi					○		V U				
743	コシジタビラコ	<i>Trigonotis brevipes</i> (Maxim.) Maxim. var. <i>coronata</i> (Ohwi) Ohwi					○						
744	ミズタビラコ	<i>Trigonotis brevipes</i> (Maxim.) Maxim. ex Hemsl.	○		○		○						
745	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) F.B.Forbes et Hemsl.	○		○		○						
ヒルガオ科 Convolvulaceae													
746	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.					○						
747	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i> Yuncker		○		○				○	他		
748	ネナシカズラ	<i>Cuscuta japonica</i> Choisy	○				○						
749	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i> L.					○			○			○
750	アメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> Jacq.					○			○			○
751	マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i> L.					○			○			
752	アサガオ	<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth	○										○
753	マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i> (L.) Roth					○			○			
754	ヒルガオ（広義）	<i>Calystegia pubescens</i> Lindl.	○		○		○						
ナス科 Solanaceae													
755	イガホオズキ	<i>Physalisstrum echinatum</i> (Yatabe) Makino	○		○		○						
756	ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Mast.) Makino					○			○			○
757	センナリホオズキ	<i>Physalis angulata</i> L.					○			○			○
758	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i> L.					○			○			
759	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i> Thunb.	○				○						
760	オオマルバノホロシ	<i>Solanum megacarpum</i> Koidz.					○						
761	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i> L.			○		○						
モクセイ科 Oleaceae													
762	トネリコ	<i>Fraxinus japonica</i> Blume ex K.Koch					○						
763	アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Murata	○		○		○						
764	ヤマトアオダモ	<i>Fraxinus longicuspis</i> Siebold et Zucc.					○						
765	ヤチダモ	<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr.	○		○		○						
766	マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i> Blume					○						
767	ミヤマイボタ	<i>Ligustrum tschonoskii</i> Decne.	○				○						
768	エゾイボタ	<i>Ligustrum tschonoskii</i> Decne. f. <i>glabrescens</i> (Koidz.) Murata	○				○						
オオバコ科 Plantaginaceae													
769	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i> Engelm. ex Hegelm.					○						
770	ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i> L.					○						
771	サウトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) T.Yamaz.	○				○		N T				
772	ジギタリス	<i>Digitalis purpurea</i> L.			○		○			○			○
773	アブノメ	<i>Dopatrium junceum</i> (Roxb.) Buch.-Ham. ex Benth.					○		V U				
774	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L.	○		○		○						
775	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i> L.					○			○			
776	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.					○			○	緊①③⑤	○	

No.	和名	学名 学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッド・データ・ブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020	環境省	新潟県					
777	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.	○		○		○			○			
778	ムシクサ（広義）	<i>Veronica peregrina</i> L.					○		N T				
779	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i> Poir.			○		○			○			
780	クガイソウ	<i>Veronicastrum japonicum</i> (Nakai) T.Yamaz. var. <i>japonicum</i>	○				○						
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae													
781	オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.					○						
782	ビロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i> L.					○			○			○
アゼナ科 Linderniaceae													
783	ヒメアメリカアゼナ	<i>Lindernia anagallidea</i> (Michx.) Pennell					○			○			
784	ウリクサ	<i>Lindernia crustacea</i> (L.) F.Muell.	○		○		○						
785	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell subsp. <i>major</i> (Pursh) Pennell	○		○		○			○			
786	アゼトウガラシ	<i>Lindernia micrantha</i> D.Don			○		○						
787	アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i> (Krock.) Borbás	○		○		○						
シソ科 Lamiaceae													
788	カワミドリ	<i>Agastache rugosa</i> (Fisch. et C.A.Mey.) Kuntze	○				○						
789	キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i> Thunb.	○		○		○						
790	ニシキゴロモ	<i>Ajuga yezoensis</i> Maxim. ex Franch. et Sav.	○		○		○						
791	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	○		○		○						
792	ジャコウソウ	<i>Chelonopsis moschata</i> Miq.					○						
793	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.					○						
794	クルマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> (Benth.) Kuntze subsp. <i>grandiflorum</i> (Maxim.) H.Hara					○						
795	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze	○		○		○						
796	ミヤマトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) H.Hara var. <i>sachalinense</i> (F.Schmidt) T.Yamaz. et Murata	○				○						
797	イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) H.Hara var. <i>micranthum</i>	○				○						
798	ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hyl.			○		○						
799	カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> L. subsp. <i>grandis</i> (A.Gray) H.Hara	○		○		○						
800	クロバナヒキオコシ	<i>Isodon trichocarpus</i> (Maxim.) Kudô	○		○		○						
801	タイリンヤマハッカ	<i>Isodon umbrosus</i> (Maxim.) H.Hara var. <i>excisinflexus</i> (Nakai) K.Asano	○		○		○						
802	コシジヒキオコシ	<i>Isodon</i> x <i>togashii</i> Okuyama	○										
803	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i> L.	○		○		○			○			
804	コシロネ	<i>Lycopus cavaleriei</i> H.Lév.					○						
805	シロネ	<i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth.					○						
806	ヒメシロネ	<i>Lycopus maackianus</i> (Maxim. ex Herder) Makino					○						
807	エゾシロネ	<i>Lycopus uniflorus</i> Michx.	○				○						
808	ハッカ	<i>Mentha canadensis</i> L.	○		○		○						
809	ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i> (Buch.–Ham. ex Roxb.) Maxim.	○		○		○						
810	イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i> (Thunb.) C.Y.Wu et H.W.Li	○		○		○						
811	レモンエゴマ	<i>Perilla citriodora</i> (Makino) Nakai					○						
812	エゴマ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>					○						
813	ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) H.Hara	○				○						
814	ミヤマタムラソウ	<i>Salvia lutescens</i> (Koidz.) Koidz. var. <i>crenata</i> (Makino) Murata	○				○						
815	キバナアキギリ	<i>Salvia nipponica</i> Miq.	○		○		○						
816	ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i> Maxim.					○						
817	デワノタツナミソウ	<i>Scutellaria muramatsui</i> H.Hara	○				○						
818	ヤマタツナミソウ	<i>Scutellaria pekinensis</i> Maxim. var. <i>transitra</i> (Makino) H.Hara					○						
819	イヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> Michx. var. <i>hispidula</i> (Regel) Vorosch.	○				○						
820	ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.			○		○						
821	ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i> Blume var. <i>miquelianum</i> (Maxim.) H.Hara					○						
822	シソ（広義）	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Benth.) W.Deane	○				○						○

No.	和名	学名はY List（APG III）の標準 （一部広義）を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
サギゴケ科 Mazaceae													
823	サギゴケ（ムラサキサギゴケ）	<i>Mazus miquelii</i> Makino	○		○		○						
824	トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i> (Burm.f.) Steenis	○		○		○						
ハエドクソウ科 Phrymaceae													
825	ミゾホオズキ	<i>Mimulus nepalensis</i> Benth.			○		○						
826	ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam.					○						
キリ科 Paulowniaceae													
827	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud.	○		○		○						○
ハマウツボ科 Orobanchaceae													
828	ミヤマママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> Miq. var. <i>nikkoense</i> Beauverd					○						
829	オニシオガマ	<i>Pedicularis nipponica</i> Makino	○				○						
830	コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz					○						
タヌキモ科 Lentibulariaceae													
831	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i> R.Br					○	N T	V U				
832	ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i> L.	○						V U				
833	ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia caerulea</i> L.	○				○		V U				
キツネノマゴ科 Acanthaceae													
834	ハグロソウ	<i>Peristrophe japonica</i> (Thunb.) Bremek. var. <i>subrotunda</i> (Matsuda) Murata et Terao					○						
ノウゼンカズラ科 Bignoniaceae													
835	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i> (Thunb.) K.Schum.					○			○			○
クマツヅラ科 Verbenaceae													
836	イワダレソウ	<i>Phyla nodiflora</i> (L.) Greene					○						○
モチノキ科 Aquifoliaceae													
837	ハイイヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. var. <i>radicans</i> (Nakai) Murai	○		○		○						
838	オクノフウリンウメモドキ	<i>Ilex geniculata</i> Maxim. var. <i>glabra</i> Okuyama	○				○						
839	ヒメモチ	<i>Ilex leucoclada</i> (Maxim.) Makino			○		○						
840	アオハダ	<i>Ilex macropoda</i> Miq.			○		○						
841	ミヤマウメモドキ	<i>Ilex nipponica</i> Makino					○						
842	アカミノイヌツゲ	<i>Ilex sugerokii</i> Maxim. var. <i>brevipedunculata</i> (Maxim.) S.Y.Hu					○						
キキョウ科 Campanulaceae													
843	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i> (Siebold et Zucc.) Miq.					○						
844	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H.Hara					○						
845	ヤマホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>hondoensis</i> (Kitam.) Ohwi			○		○						
846	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Trautv.	○		○		○						
847	ミゾカクシ（アゼムシロ）	<i>Lobelia chinensis</i> Lour.	○		○		○						
848	タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosus</i> (Wall.) Hook.f. et Thomson					○						
ミツガシワ科 Menyanthaceae													
849	ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i> L.	○				○		V U				
キク科 Asteraceae													
850	セイヨウノコギリソウ	<i>Achillea millefolium</i> L.					○			○			○
851	ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.					○						
852	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.					○			○			
853	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.					○			○	重①③		
854	カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook.f. subsp. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Kitam.			○		○						
855	チョウジギク	<i>Arnica montana</i> Makino					○						
856	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara	○		○		○						
857	ヒメヨモギ	<i>Artemisia lancea</i> Vaniot					○						
858	オオヨモギ	<i>Artemisia montana</i> (Nakai) Pamp.					○						
859	タマバシロヨメナ	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. var. <i>ageratoides</i> f. <i>ovalifolius</i> (Kitam.) Ohwi					○						
860	ゴマナ	<i>Aster glehnii</i> F.Schmidt var. <i>hondoensis</i> Kitam.	○		○		○						
861	ユウガギク	<i>Aster iinumae</i> Kitam.	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
862	ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> (Miq.) Franch. et Sav. var. <i>ovatus</i> (Franch. et Sav.) Soejima et Mot.Ito	○		○		○						
863	ミヤマヨメナ	<i>Aster savatieri</i> Makino					○						○
864	シラヤマギク	<i>Aster scaber</i> Thunb.			○		○						
865	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i> L.	○		○		○			○	他		
866	タウコギ	<i>Bidens tripartita</i> L.			○		○						
867	サジガクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i> Maxim.					○						
868	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i> (L.) A.Braun et Asch.	○		○		○						
869	タチアザミ	<i>Cirsium inundatum</i> Makino				○							
870	ノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i> Fisch. ex DC.	○		○		○						
871	カガノアザミ	<i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai	○				○						
872	オニアザミ	<i>Cirsium borealinipponense</i> Kitam.	○		○		○						
873	ナンブアザミ	<i>Cirsium makinoi</i> Kadota	○		○		○						
874	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.				○				○	他		
875	サワアザミ	<i>Cirsium yezoense</i> (Maxim.) Makino	○										
876	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i> L.	○		○		○			○	緊①③⑤	○	
877	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.			○		○			○	他		
878	ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S.Moore	○		○		○			○			
879	ヤクシソウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i> (Houtt.) J.H.Pak et Kawano			○		○						
880	アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	○		○		○			○			
881	タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i> Bunge					○						
882	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> (L.) Raf. ex DC.	○		○		○			○			
883	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	○		○		○			○	他		
884	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i> L.	○		○		○			○			
885	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	○		○		○			○			
886	ヘラバヒメジョオン	<i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.				○							
887	オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i> Retz.					○			○			
888	チチコグサ	<i>Euchiton japonicus</i> (Thunb.) Anderb.					○						
889	ヨツバヒヨドリ	<i>Eupatorium glehnii</i> F.Schmidt ex Trautv.					○						
890	サウヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i> DC. var. <i>lindleyanum</i>	○		○		○						
891	オオヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) T.Kawahara et Yahara			○								
892	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.			○		○			○			
893	ククイモ	<i>Helianthus tuberosus</i> L.			○		○			○			
894	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i> L.	○		○		○			○			
895	オグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Kitam.					○						
896	ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>dentatum</i>	○		○		○						
897	ハナニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>nipponicum</i> (Nakai) J.H.Pak et Kawano var. <i>albiflorum</i> (Makino) Tzvelev f. <i>amplifolium</i> (Kitam.) H.Makino et H.Ohsaki	○		○		○						
898	オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i> (Burm.f.) Nakai					○						
899	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.	○		○		○		V U				
900	イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i> A.Gray			○		○						
901	アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> L.	○		○		○						
902	ヤブタバコ	<i>Lapsanastrum humile</i> (Thunb.) J.H.Pak et K.Bremer	○		○		○						
903	センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i> (L.) Turcz.	○		○		○						
904	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i> Lam.	○		○		○			○	他		○
905	メタカラコウ	<i>Ligularia stenocephala</i> (Maxim.) Matsum. et Koidz.					○						
906	オオニガナ	<i>Nabalus tanakae</i> Franch. et Sav. ex Y.Tanaka et Ono	○				○		V U				
907	モミジガサ	<i>Parasenecio delphinifolius</i> (Siebold et Zucc.) H.Koyama					○						
908	クルマバハグマ	<i>Pertya rigidula</i> (Miq.) Makino			○		○						
909	フキ	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	○		○		○						
910	コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov			○		○						
911	コウリンタンポポ	<i>Pilosella aurantiaca</i> (L.) F.Schultz et Sch.Bip.	○							○	他		

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大茅川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッドデータブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
912	ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i> (D.Don) Anderb.	○		○		○						
913	ヤマニガナ	<i>Pterocypsela elata</i> (Hemsl.) C.Shih	○				○						
914	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i> L.	○				○			○	緊①②③⑤	○	
915	ハンゴンソウ	<i>Senecio cannabifolius</i> Less.					○						
916	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i> L.					○			○			
917	コメナモミ	<i>Sigesbeckia glabrescens</i> (Makino) Makino			○		○						
918	メナモミ	<i>Sigesbeckia pubescens</i> (Makino) Makino					○						
919	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	○		○		○			○	重①②③		
920	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> Aiton subsp. <i>serotina</i> (Kuntze) McNeill	○		○		○			○	重①②③		
921	アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai ex H.Hara) Kitam. ex H.Hara	○		○		○						
922	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	○		○		○			○			
923	ノゲシ (ハルノノゲシ)	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	○		○		○						
924	オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	○		○		○						
925	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	○		○		○			○	重①②③		
926	エゾタンポポ	<i>Taraxacum venustum</i> H.Koidz.	○				○						
927	サワオグルマ	<i>Tephrosia pierotii</i> (Miq.) Holub	○		○		○						
928	オオオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> L. subsp. <i>Orientalis</i>					○			○	他		
929	オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	○		○		○						
930	アカオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC. subsp. <i>elstonii</i> (Hochr.) Babcock et Stebb.	○		○		○						
931	ヒヨドリバナ (広義)	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara	○				○						
レンブクソ科 Adoxaceae													
932	オオニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara var. <i>major</i> (Nakai) Murata	○		○		○						
933	ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.					○						
934	オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i> Blume ex Maxim.	○		○		○						
935	ケナシヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> Thunb. var. <i>plicatum</i> f. <i>glabrum</i> (Koidz. ex Nakai) Rehder	○		○		○						
936	ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> Miq.	○		○		○						
スイカズラ科 Caprifoliaceae													
937	ウゴツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zucc. var. <i>stenophylla</i> Honda	○				○						
938	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir.					○		E N				○
939	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	○		○		○						
940	タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i> (Siebold et Zucc.) K.Koch	○		○		○						
ウコギ科 Araliaceae													
941	ウド	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	○		○		○						
942	タラノキ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	○		○		○						
943	メダラ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem. f. <i>subinermis</i> (Ohwi) Sugim.			○		○						○
944	コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i> (Franch. et Sav.) C.B.Shang et J.Y.Huang	○		○		○						
945	ヤマウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L.f.) S.Y.Hu					○						
946	タカノツメ	<i>Gamblea innovans</i> (Siebold et Zucc.) C.B.Shang, Lowry et Frodin	○		○		○						
947	オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i> Maxim.	○		○		○						
948	ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb.) Koidz.					○						
949	トチバニンジン	<i>Panax japonicus</i> (T.Nees) C.A.Mey.	○				○						
セリ科 Apiaceae													
950	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.					○						
951	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i> Maxim.					○						
952	ミチノクヨロイグサ	<i>Angelica sachalinensis</i> Maxim. var. <i>glabra</i> (Koidz.) T.Yamaz.	○		○		○						
953	シャク	<i>Anthriscus sylvestris</i> (L.) Hoffm. subsp. <i>sylvestris</i>					○						
954	ドクゼリ	<i>Cicuta virosa</i> L.					○						
955	ミツバ	<i>Cryptotaenia canadensis</i> (L.) DC. subsp. <i>japonica</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	○		○		○						
956	オオハナウド	<i>Heracleum lanatum</i> Michx. var. <i>lanatum</i>					○						
957	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	○		○		○						

No.	和名	学名 学名はY List (APG III) の標準 (一部広義) を採用した。	鳥屋ヶ 峰	追跡調 査	大芋川	追跡調 査	2018 以前の 調査	レッドリスト レッド・データブック		外来種	生態系被 害防止外 来種リス ト	特定外 来生物	栽培・ 逸出
			2019	2019	2020	2020		環境省	新潟県				
958	ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydb.					○						
959	ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i> Bunge	○		○		○						
960	ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.					○						
計 154科 960種(亜種・品種を含む。)			513	6	477	8	924	17	56	106	34	3	54

カテゴリー	
絶滅 (EX)	
野生絶滅 (EW)	
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅危惧ⅠA類(CR)
	絶滅危惧ⅠB類(EN)
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	
準絶滅危惧 (NT)	
情報不足(DD)	
絶滅のおそれのある 地域個体群 (LP)	

環境省
日本ではすでに絶滅したと考えられる種
飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ 存続している種
ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅の危険が増大している種
現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」 に移行する可能性のある種
評価するだけの情報が不足している種
地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

新潟県
新潟県ではすでに絶滅したと考えられる種
飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (EN) 絶滅の危機に瀕している種
絶滅の危険が増大している種
現時点での絶滅危険度は小さいが、生息・生育条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
保護に留意すべき地域個体群